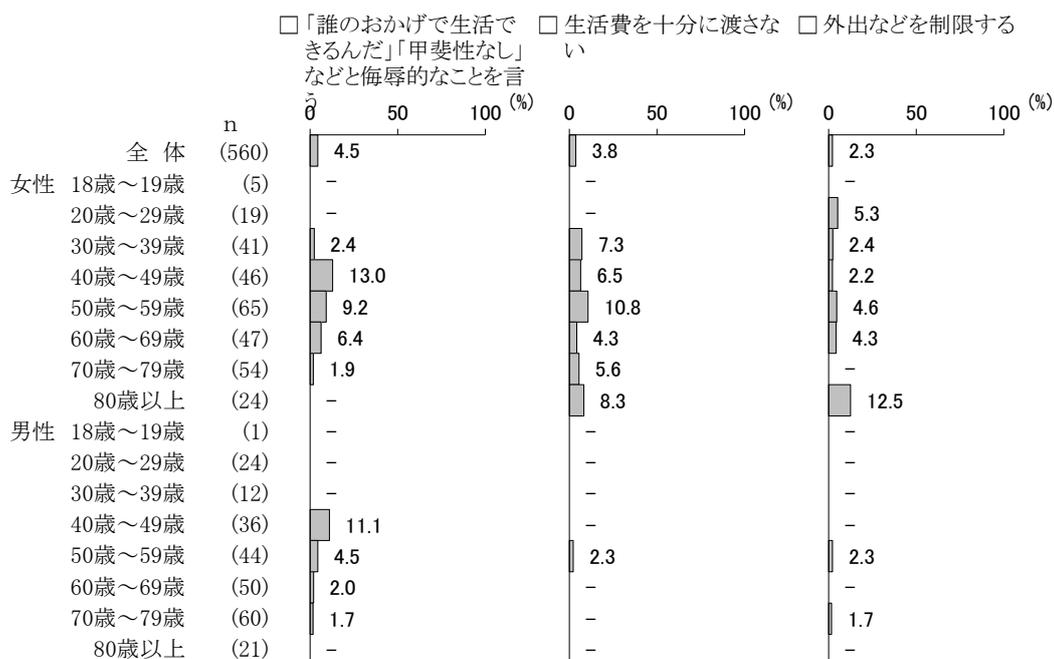
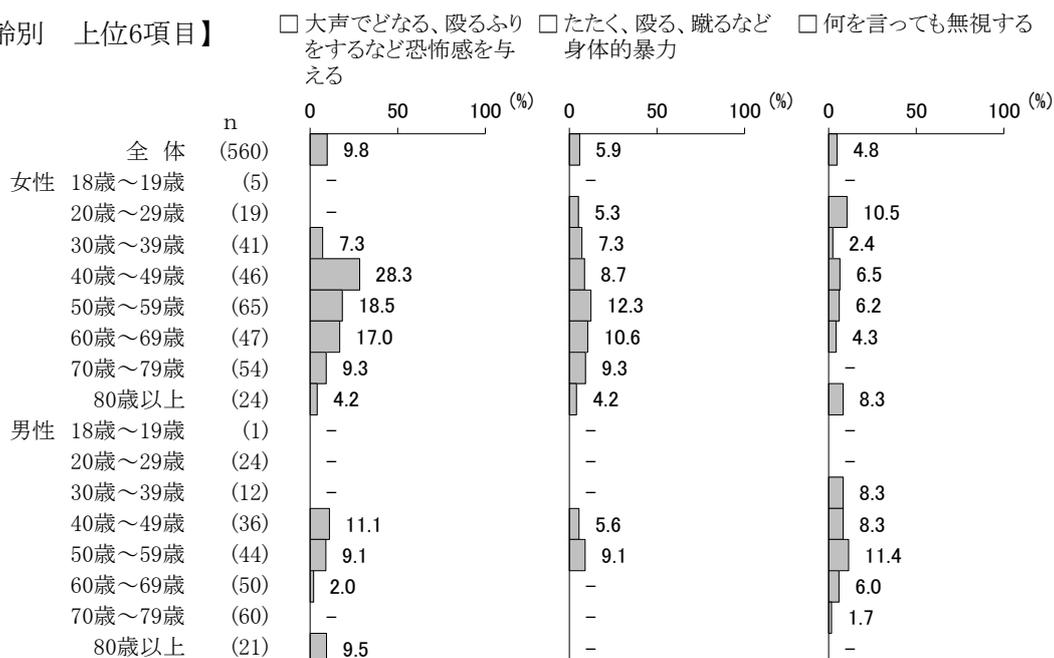


【性年齢別 上位6項目】

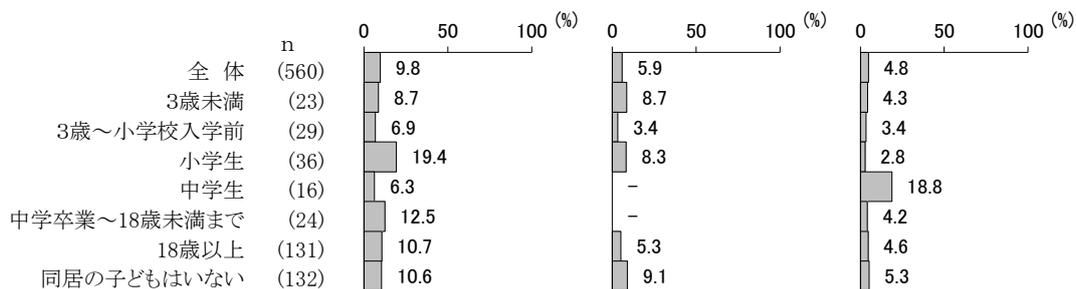


性年齢別で見ると、女性の40歳～49歳において「大声でどなる、殴るふりをするなど恐怖感を与える」が28.3%となっています。

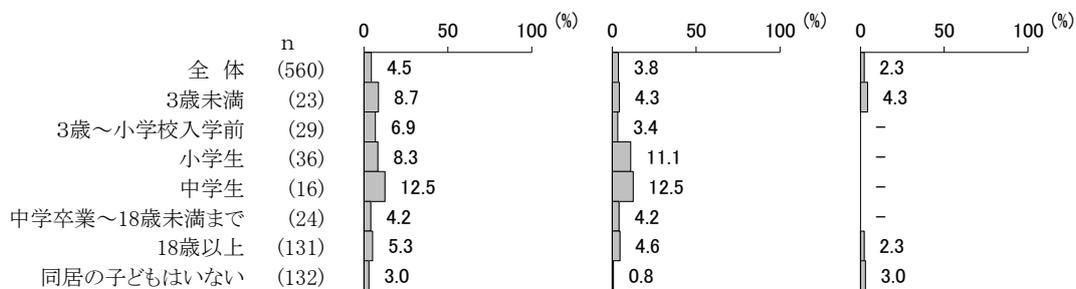
第2章 調査結果の詳細

【末子の年齢別 上位6項目】

- 大声でどなる、殴るふりをするなど恐怖感を与える
- たたく、殴る、蹴るなど身体的暴力
- 何を言っても無視する



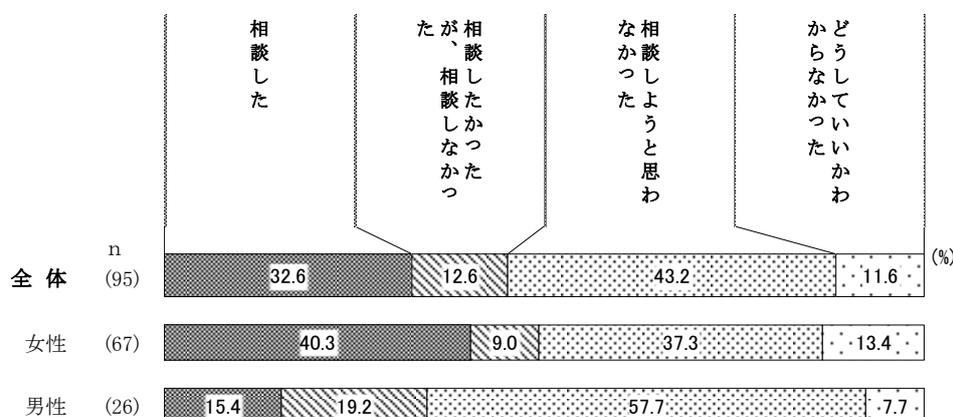
- 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと侮辱的なことを言う
- 生活費を十分に渡さない
- 外出などを制限する



(2) DV（配偶者や交際相手からの暴力）を相談した経験の有無

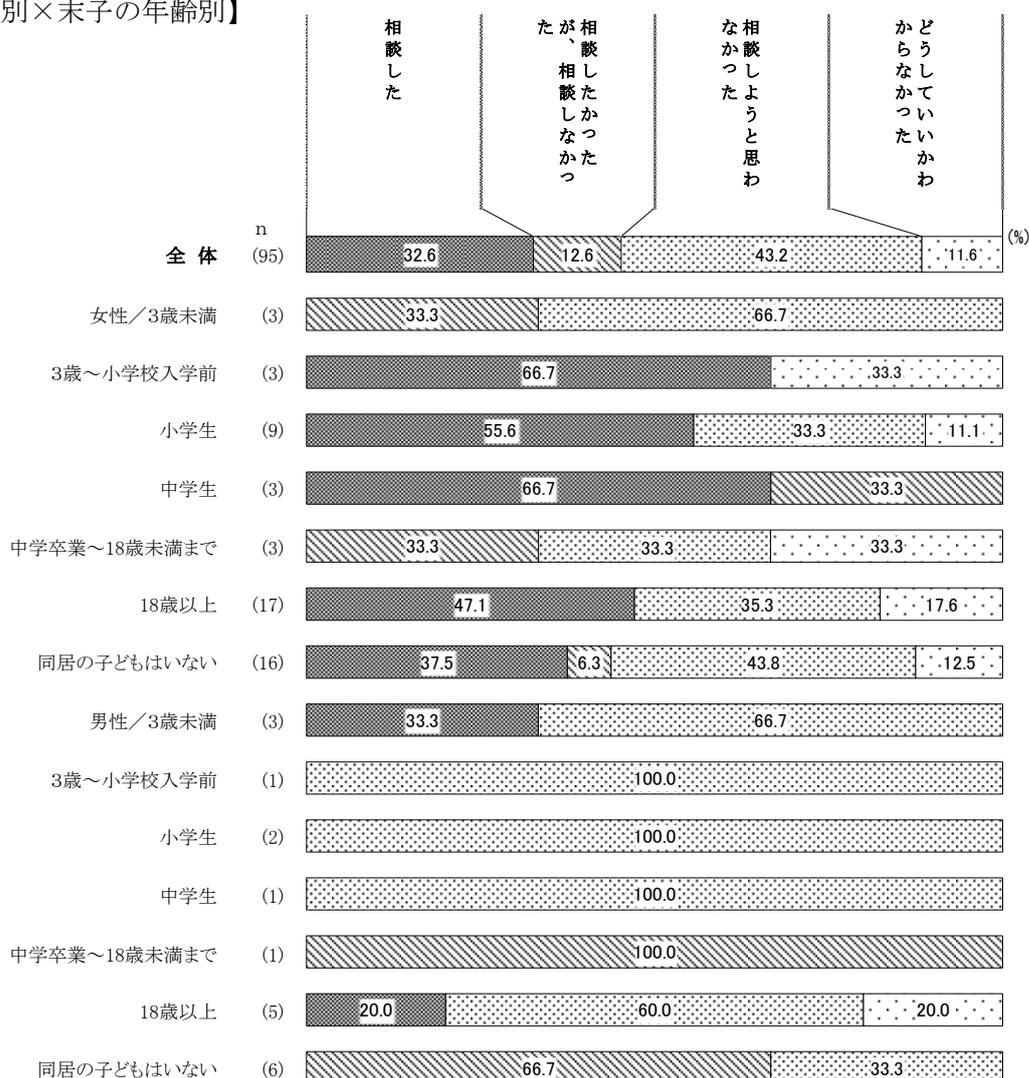
問31で「1」～「8」のいずれか1つでもお答えの方にお伺いします。

問31-1 そのことについて誰かに相談しましたか。(○は1つ)



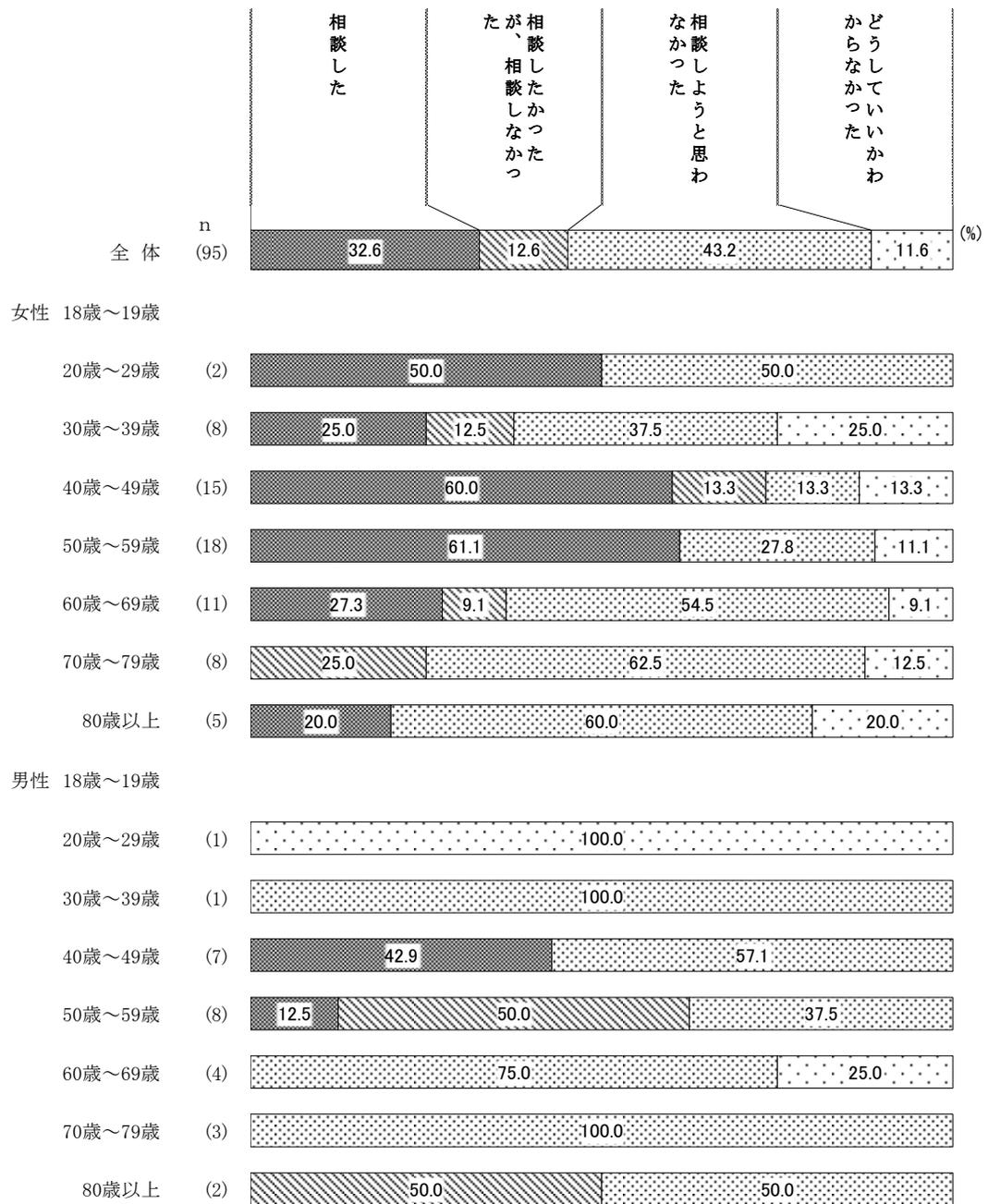
DVを相談した経験の有無は、「相談しようと思わなかった」が43.2%で最も高く、「相談した」は32.6%となっています。男女別で見ると、女性において「相談した」が男性と比べて24.9ポイント高くなっています。

【性別×末子の年齢別】



第2章 調査結果の詳細

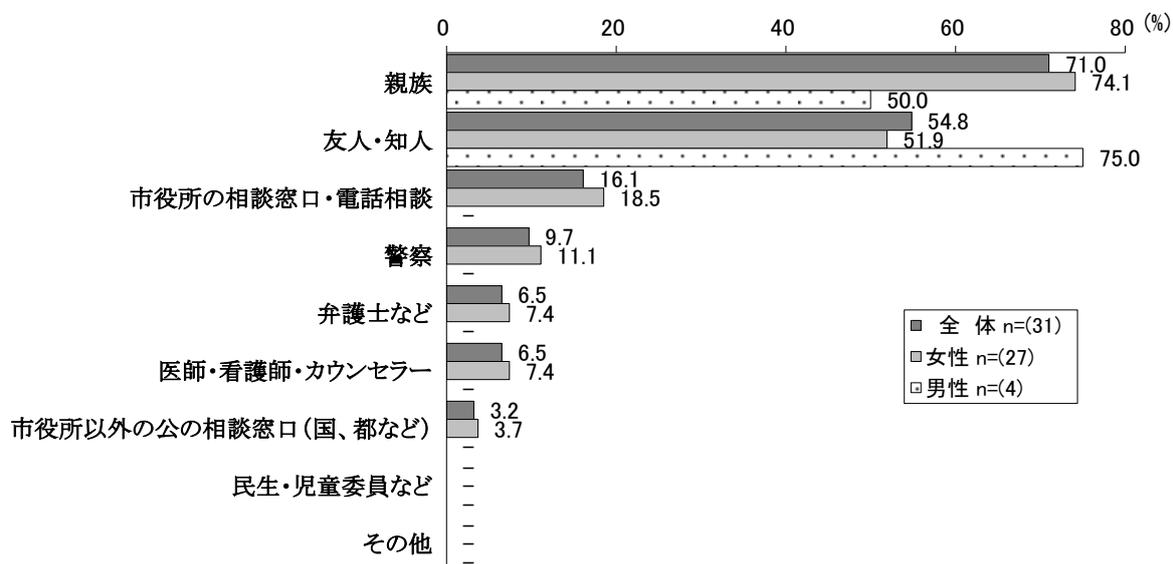
【性年齢別】



(3) DV（配偶者や交際相手からの暴力）の相談相手

問31-1で「1. 相談した」とお答えの方にお伺いします。

問31-1-1 誰（どこ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）



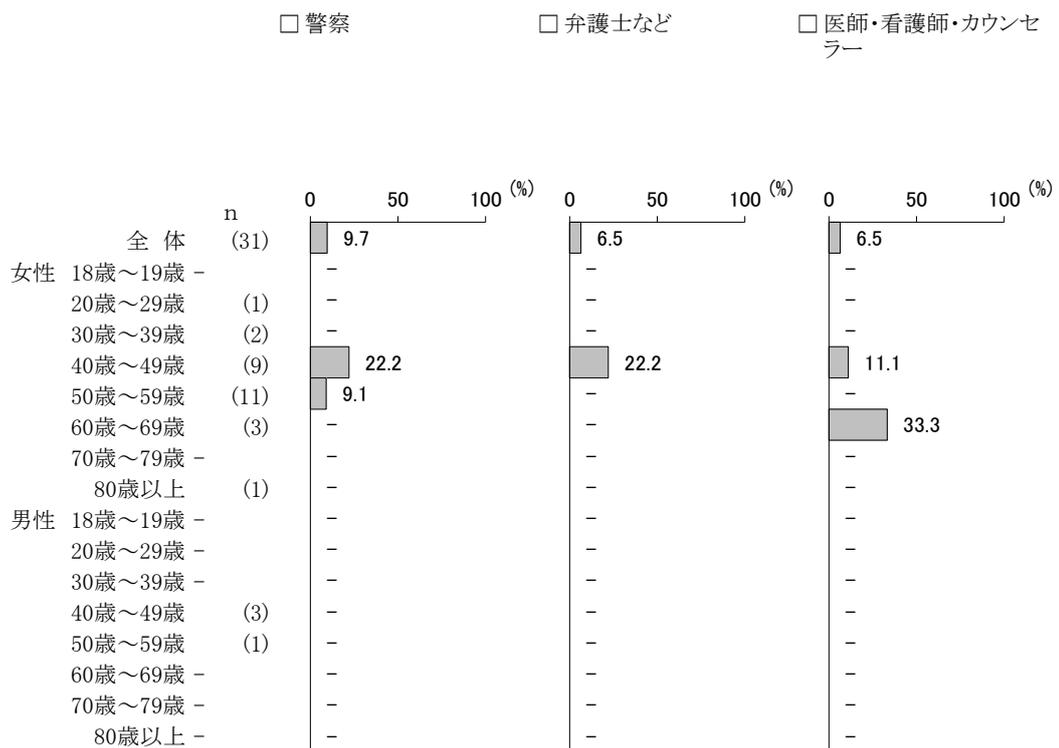
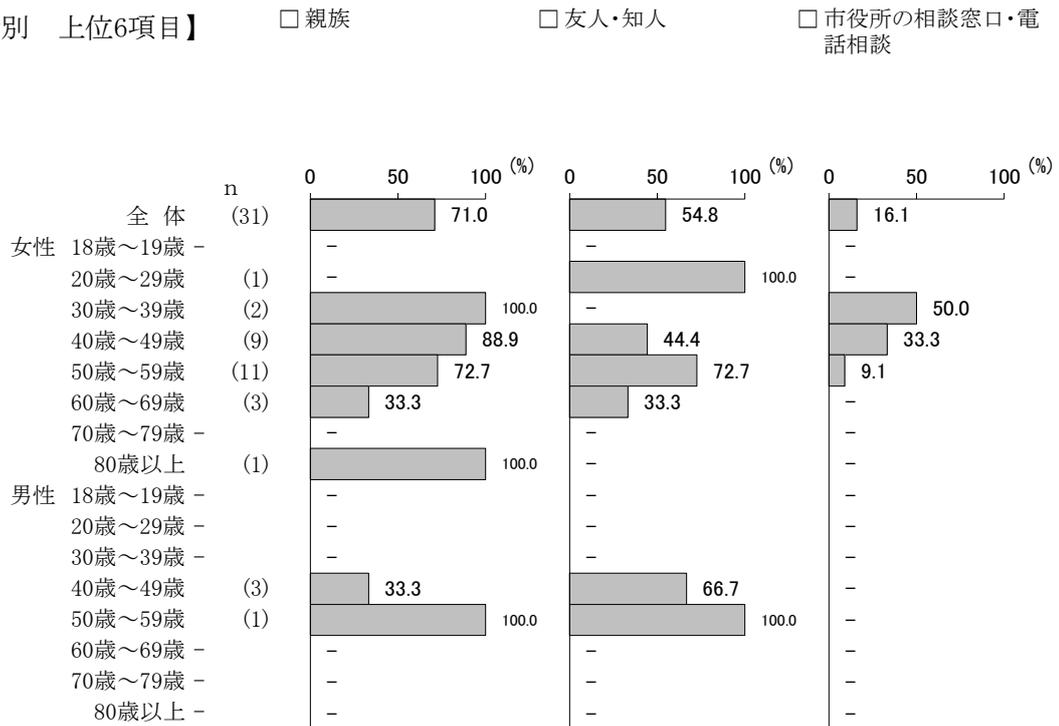
DVの相談相手は、「親族」が71.0%で最も高く、次いで「友人・知人」が54.8%、「市役所の相談窓口・電話相談」が16.1%となっています。

男女別で見ると、女性において「親族」が男性と比べて24.1ポイント高くなっています。

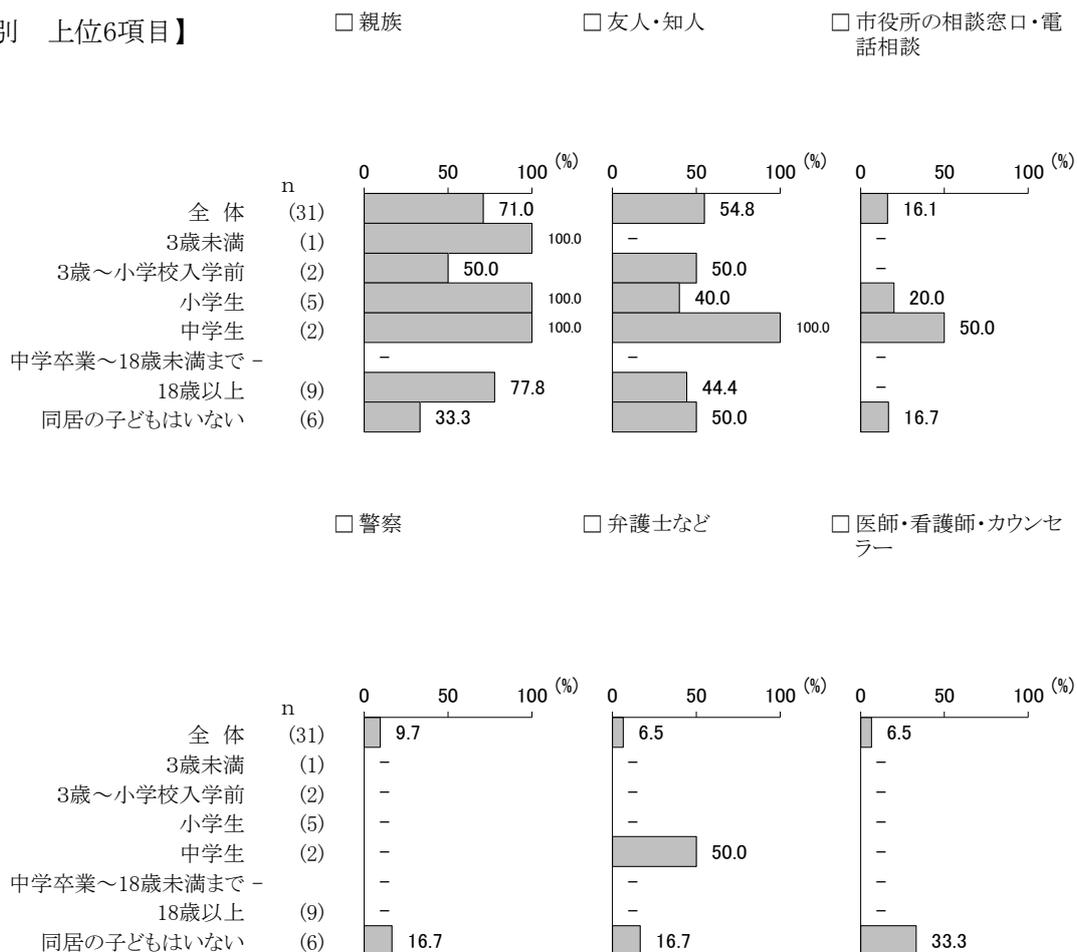
一方で、男性において「友人・知人」が女性と比べて23.1ポイント高くなっています。

第2章 調査結果の詳細

【性年齢別 上位6項目】



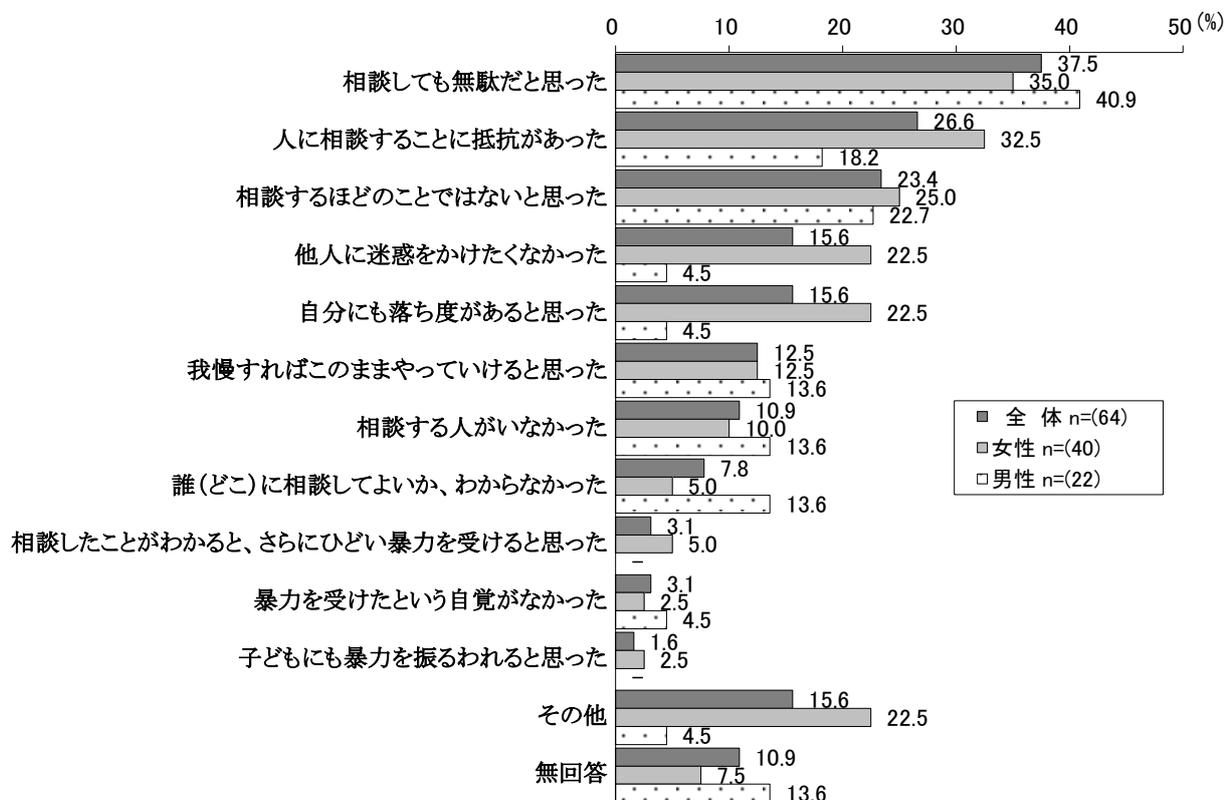
【末子の年齢別 上位6項目】



(4) DV（配偶者や交際相手からの暴力）を相談しなかった理由

問31-1で「2」、「3」、「4」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問31-1-2 相談しなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）



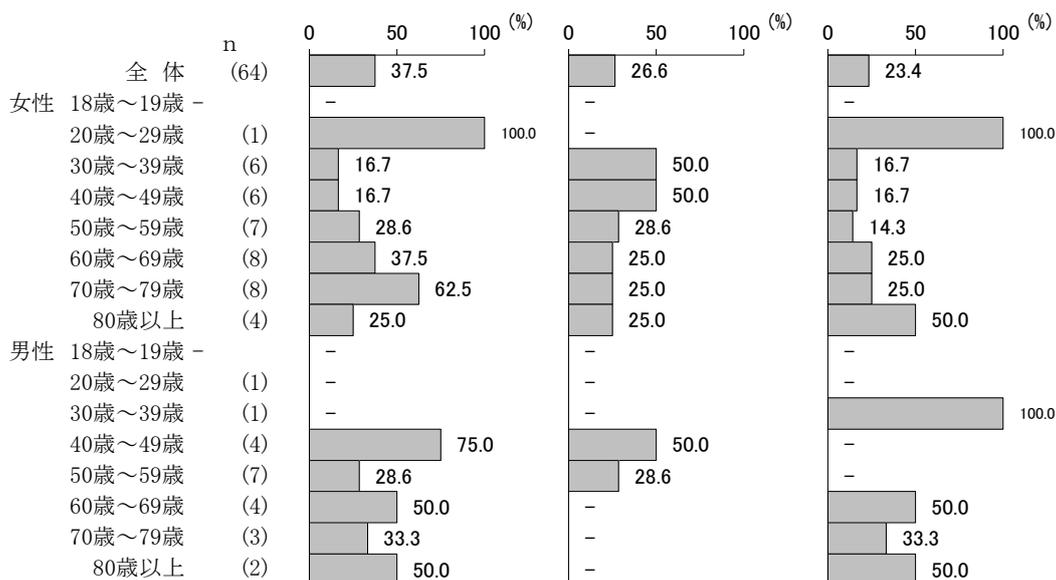
DVを相談しなかった理由は、「相談しても無駄だと思った」が37.5%で最も高く、次いで「人に相談することに抵抗があった」が26.6%、「相談するほどのことではないと思った」が23.4%となっています。

男女別で見ると、女性において「他人に迷惑をかけたくなかった」および「自分にも落ち度があると思った」が18ポイント、「人に相談することに抵抗があった」が14.3ポイント、男性と比べて高くなっています。

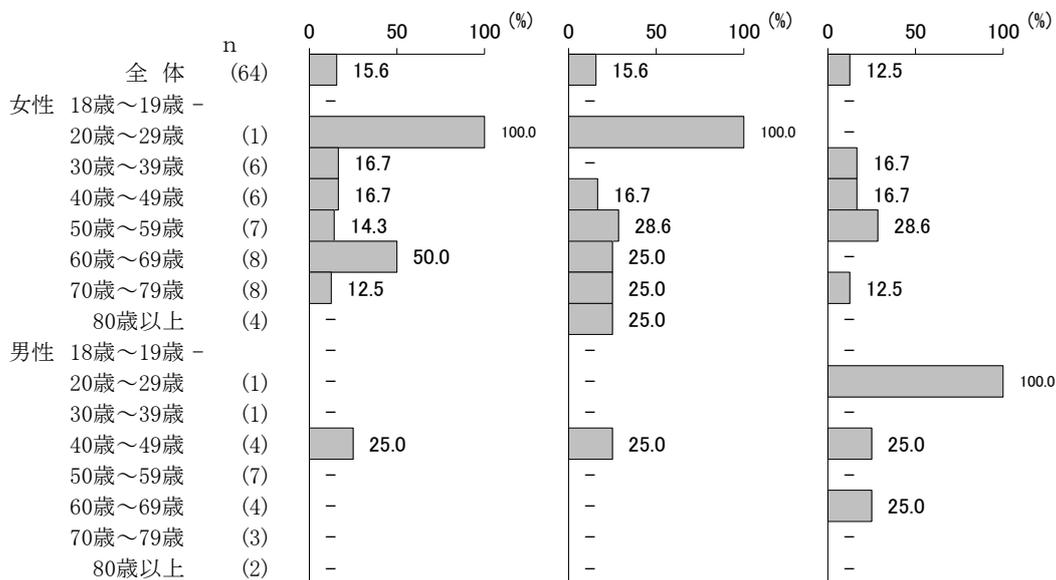
一方で、男性において「誰(どこ)に相談してよいか、わからなかった」が女性と比べて8.6ポイント高くなっています。

【性年齢別 上位6項目】

□ 相談しても無駄だと思った □ 人に相談することに抵抗があった □ 相談するほどのことではないと思った



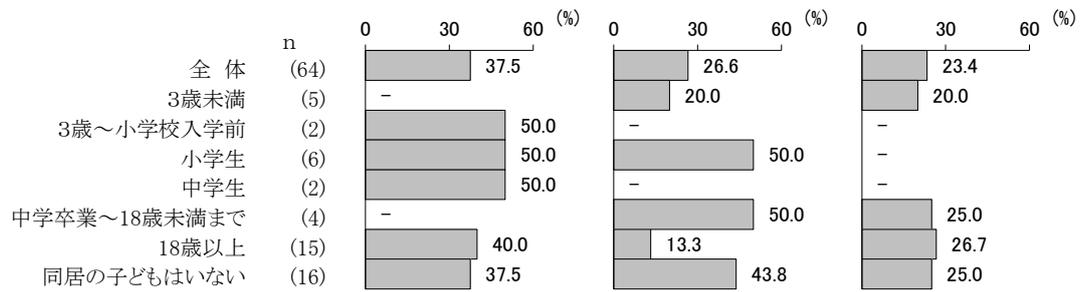
□ 他人に迷惑をかけたくなかった □ 自分にも落ち度があると思った □ 我慢すればこのままやっていたらよかった



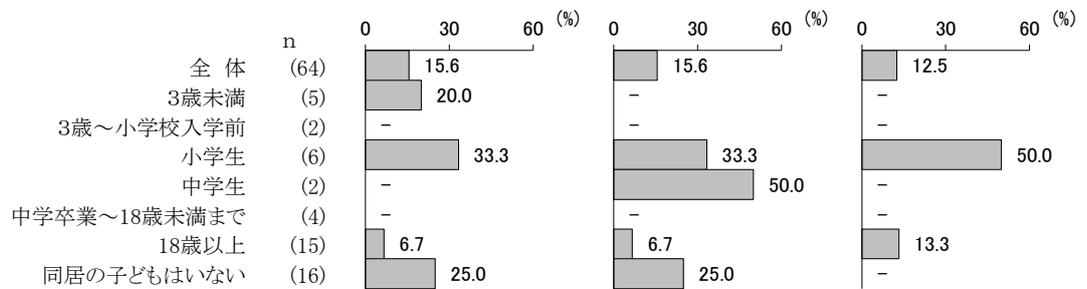
第2章 調査結果の詳細

【末子の年齢別 上位6項目】

- 相談しても無駄だと思った
 人に相談することに抵抗があった
 相談するほどのことではないと思った

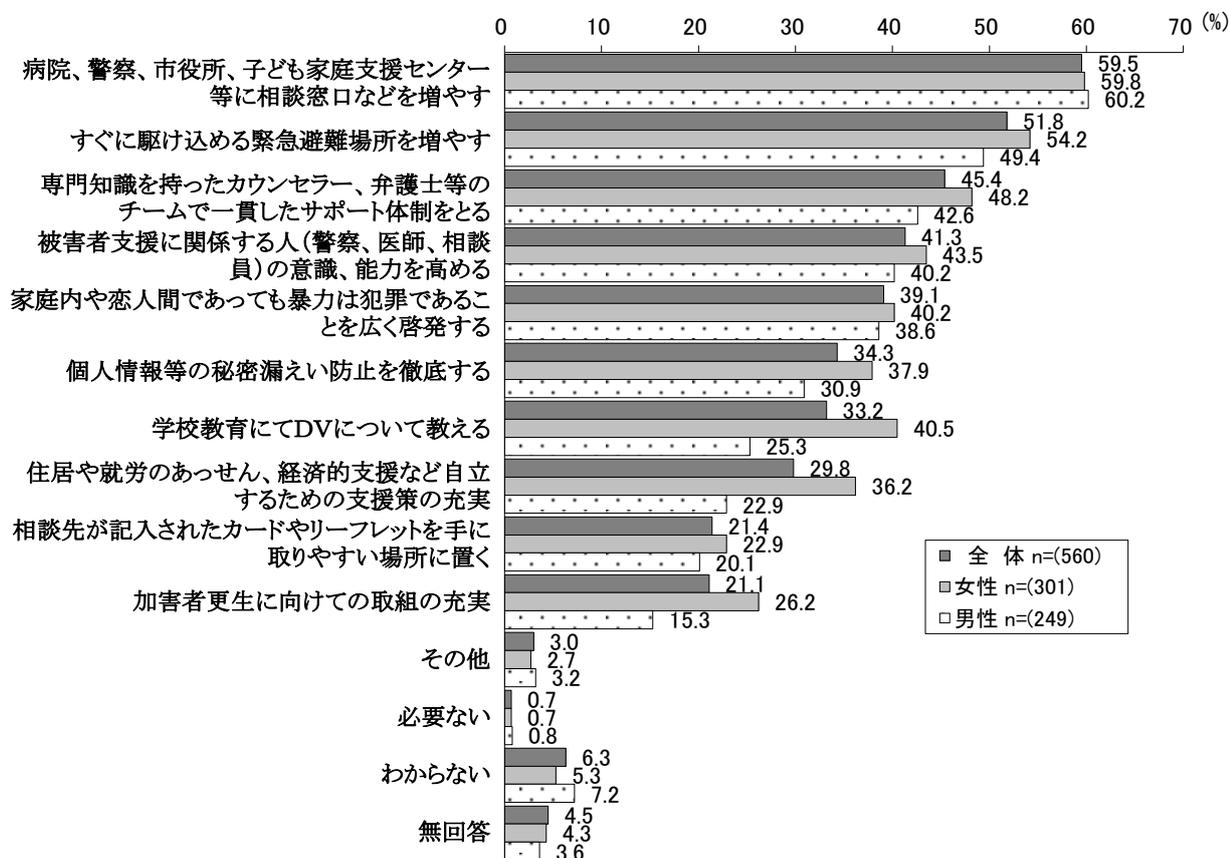


- 他人に迷惑をかけたくなかった
 自分にも落ち度があると思った
 我慢すればこのままやっていけると思った



(5) DV（配偶者や交際相手からの暴力）に関して必要な対策

問32 あなたは、配偶者間や交際相手からの暴力（ドメスティックバイオレンス）防止また、被害者支援のためにどのような対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）



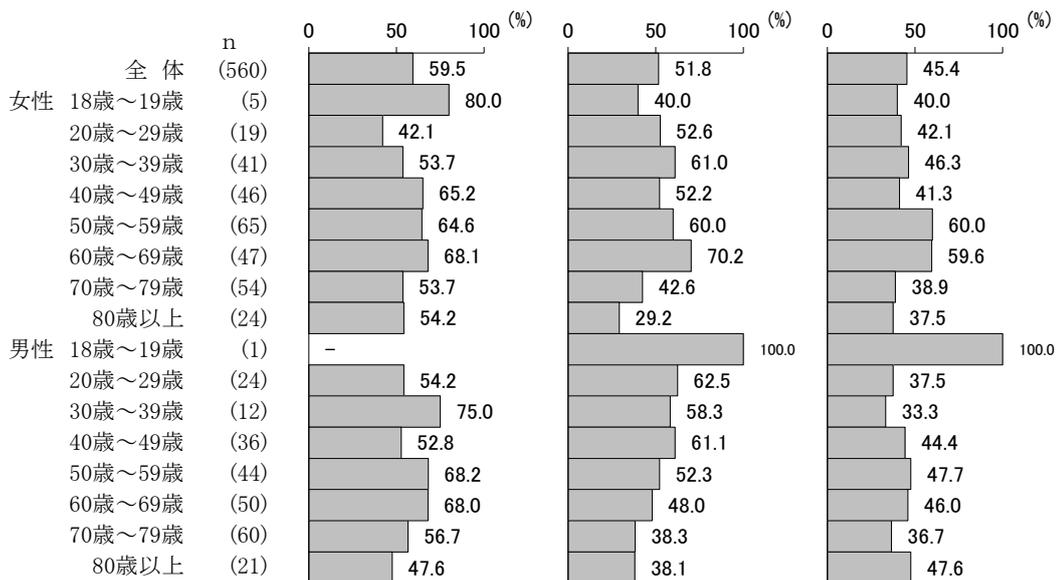
DVに関して必要な対策は、「病院、警察、市役所、子ども家庭支援センター等に相談窓口などを増やす」が59.5%で最も高く、次いで「すぐに駆け込める緊急避難場所を増やす」が51.8%、「専門知識を持ったカウンセラー、弁護士等のチームで一貫したサポート体制をとる」が45.4%となっています。

男女別で見ると、女性において「学校教育にてDVについて教える」が15.2ポイント、「住居や就労のあっせん、経済的支援など自立するための支援策の充実」が13.3ポイント、男性と比べて高くなっています。

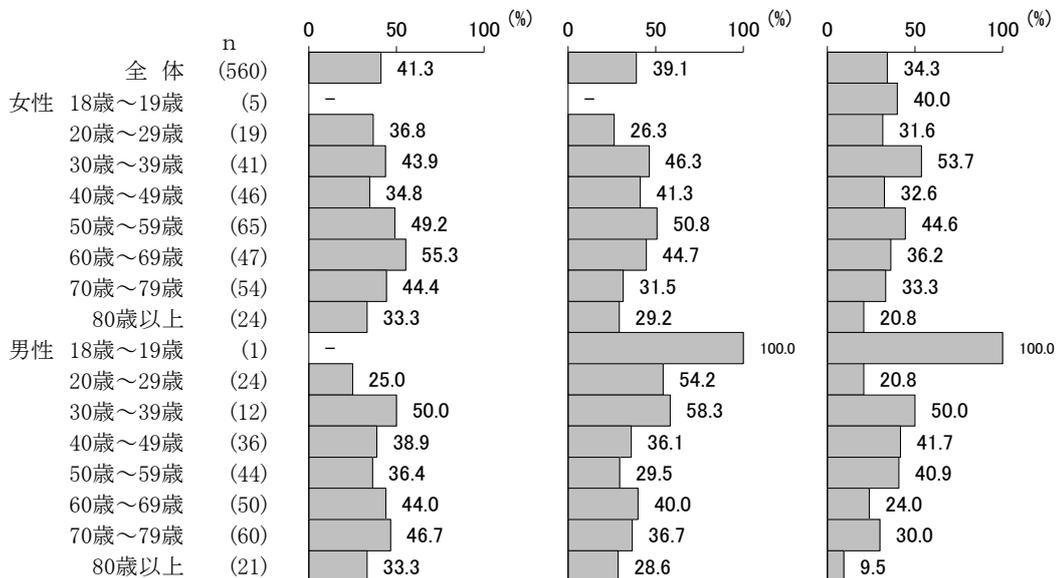
第2章 調査結果の詳細

【性年齢別 上位6項目】

- 病院、警察、市役所、子ども家庭支援センター等に相談窓口などを増やす
- すぐに駆け込める緊急避難場所を増やす
- 専門知識を持ったカウンセラー、弁護士等のチームで一貫したサポート体制をとる

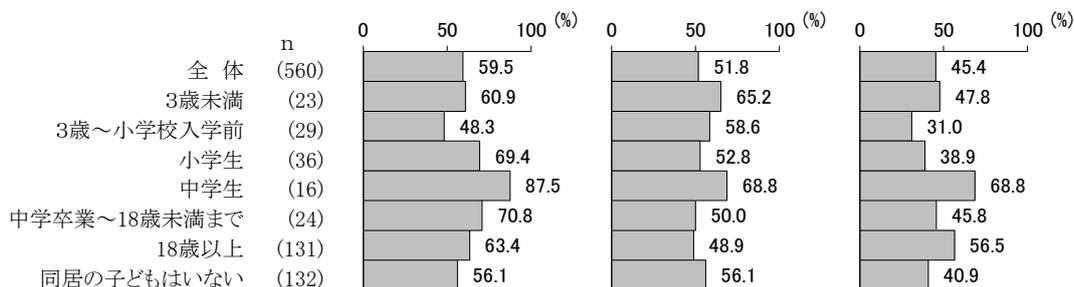


- 被害者支援に関係する人(警察、医師、相談員)の意識、能力を高める
- 家庭内や恋人間であっても暴力は犯罪であることを広く啓発する
- 個人情報等の秘密漏えい防止を徹底する

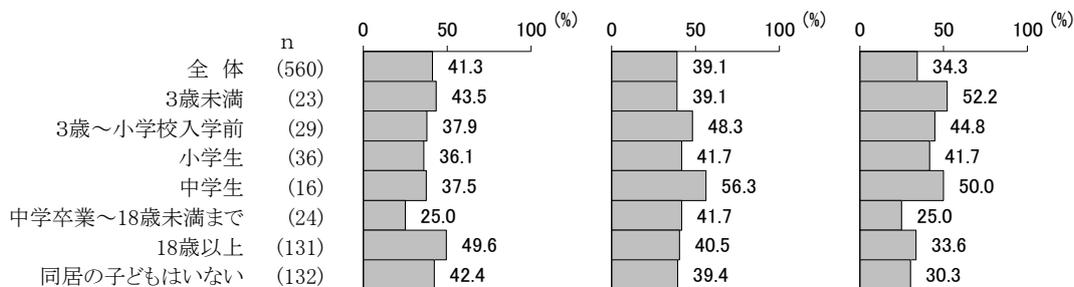


【末子の年齢別 上位6項目】

- 病院、警察、市役所、子ども家庭支援センター等に相談窓口などを増やす
- すぐに駆け込める緊急避難場所を増やす
- 専門知識を持ったカウンセラー、弁護士等のチームで一貫したサポート体制をとる



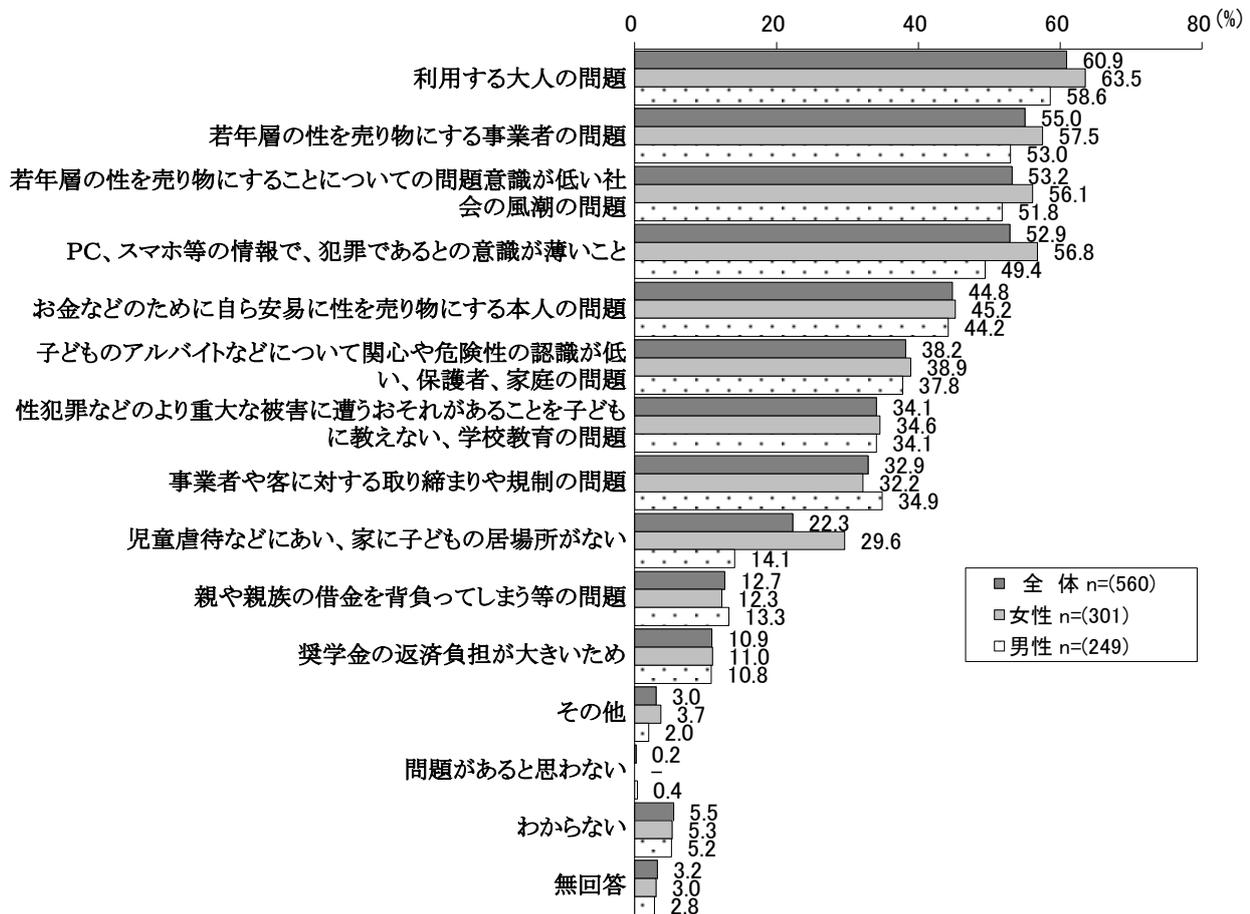
- 被害者支援に関係する人(警察、医師、相談員)の意識、能力を高める
- 家庭内や恋人間であっても暴力は犯罪であることを広く啓発する
- 個人情報等の秘密漏えい防止を徹底する



9. 若年層を取り巻く性犯罪・性暴力について

(1) 若年層の性被害等の問題の原因

問33 AV出演強要やいわゆるJKビジネスなどの性犯罪についてこのような問題は何が原因といますか。(〇はいくつでも)

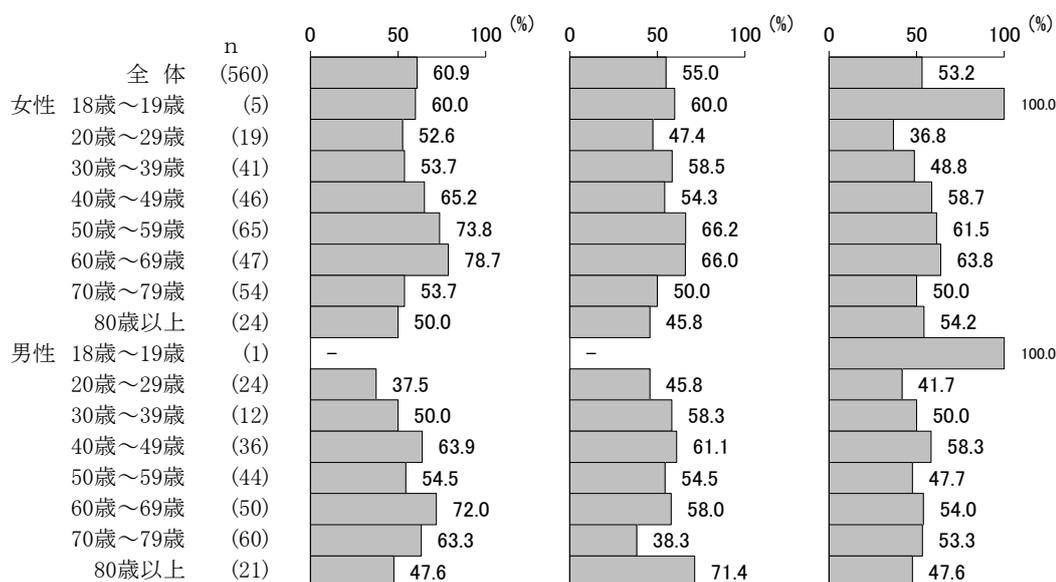


若年層の性被害等の問題の原因は、「利用する大人の問題」が60.9%で最も高く、次いで「若年層の性を売り物にする事業者の問題」が55.0%、「若年層の性を売り物にすることについての問題意識が低い社会の風潮の問題」が53.2%となっています。

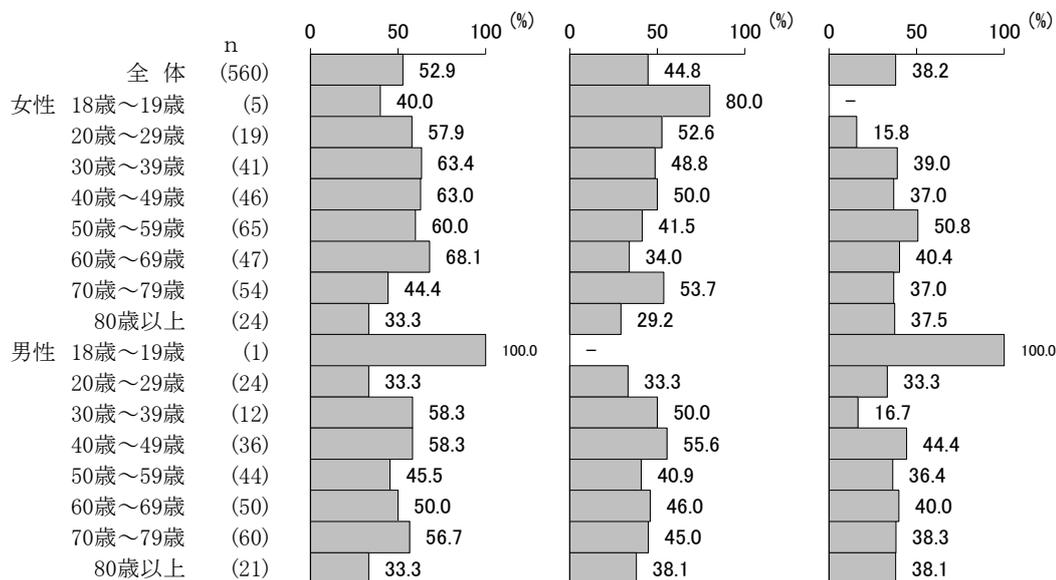
男女別で見ると、女性において「児童虐待などにあい、家に子どもの居場所がない」が男性と比べて15.5ポイント高くなっています。

【性年齢別 上位6項目】

- 利用する大人の問題
- 若年層の性を売り物にする事業者の問題
- 若年層の性を売り物にすることについての問題意識が低い社会の風潮の問題



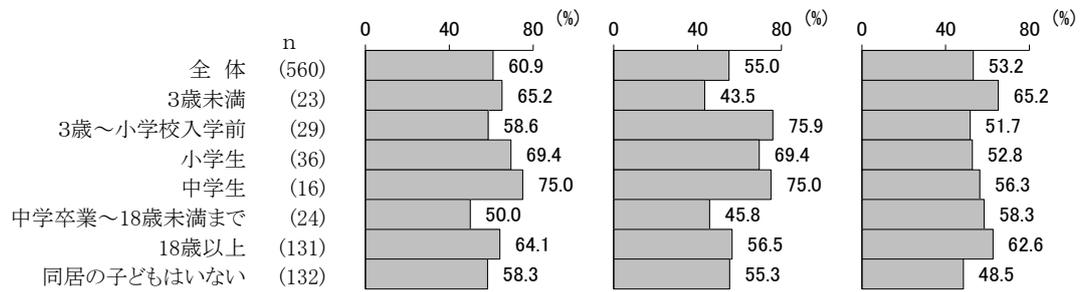
- PC、スマホ等の情報で、犯罪であるとの意識が薄いこと
- お金などのために自ら安易に性を売り物にする本人の問題
- 子どものアルバイトなどについて関心や危険性の認識が低い、保護者、家庭の問題



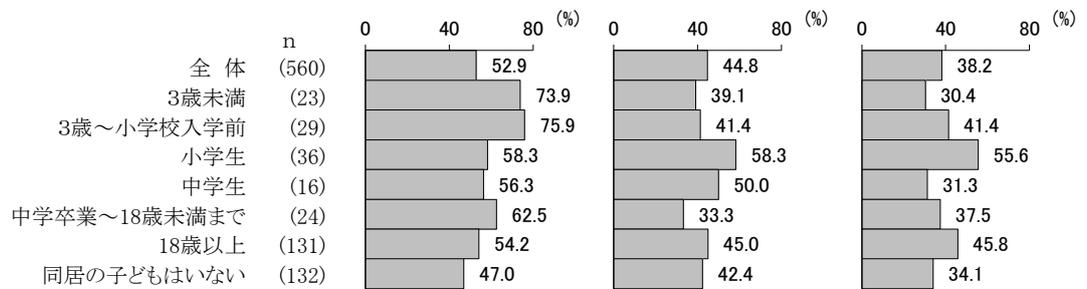
第2章 調査結果の詳細

【末子の年齢別 上位6項目】

- 利用する大人の問題
- 若年層の性を売り物にする事業者の問題
- 若年層の性を売り物にすることについての問題
意識が低い社会の風潮の問題

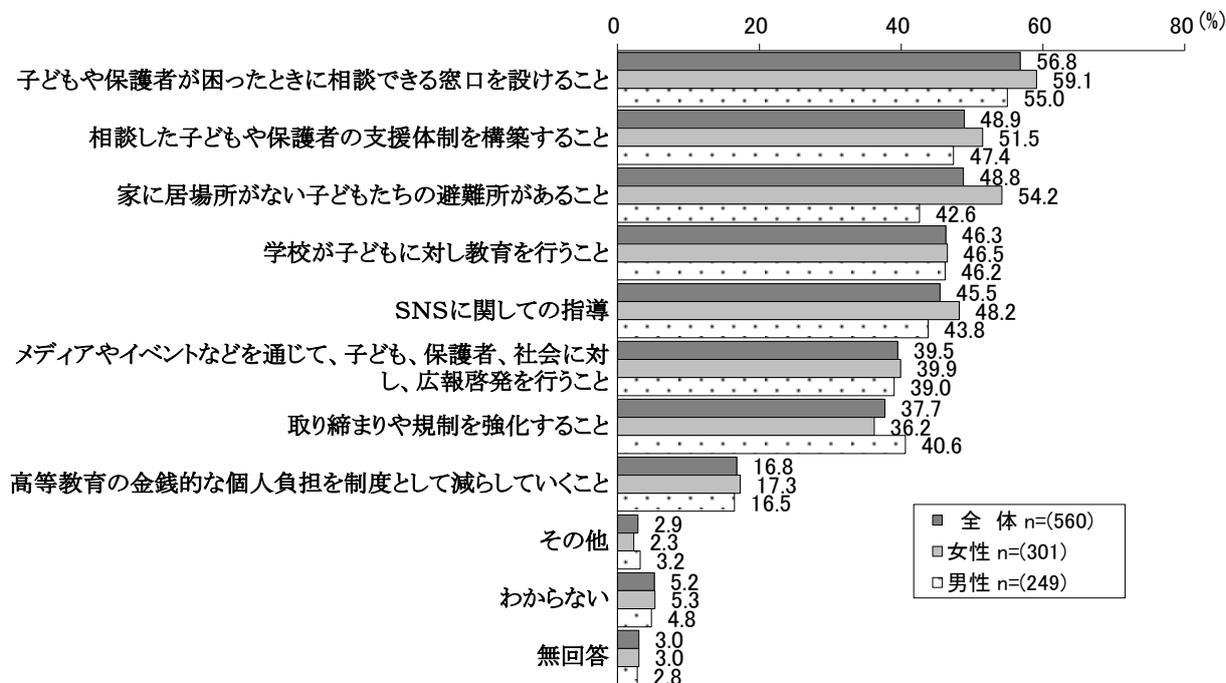


- PC、スマホ等の情報で、犯罪であるとの意識が薄いこと
- お金などのために自ら安易に性を売り物にする本人の問題
- 子どものアルバイトなどについて関心や危険性の認識が低い、保護者、家庭の問題



(2) 子どもの性被害等の防止に必要なこと

問34 問33のような問題より子どもが犯罪の被害に遭うのを防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



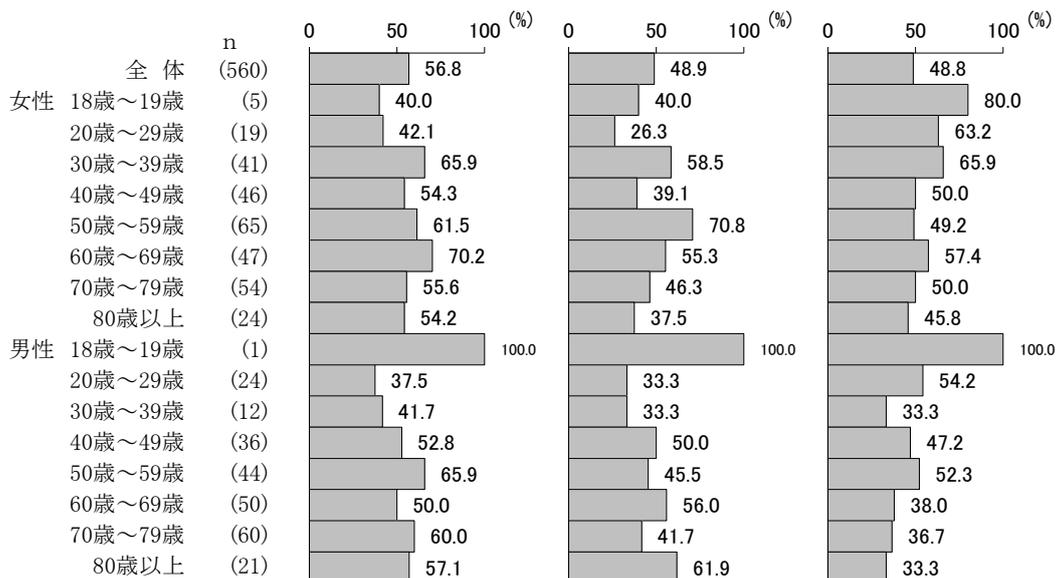
子どもの性被害等の防止に必要なことは、「子どもや保護者が困ったときに相談できる窓口を設けること」が56.8%で最も高く、次いで「相談した子どもや保護者の支援体制を構築すること」が48.9%、「家に居場所がない子どもたちの避難所があること」が48.8%となっています。

男女別で見ると、女性において「家に居場所がない子どもたちの避難所があること」が男性と比べて11.6ポイント高くなっています。

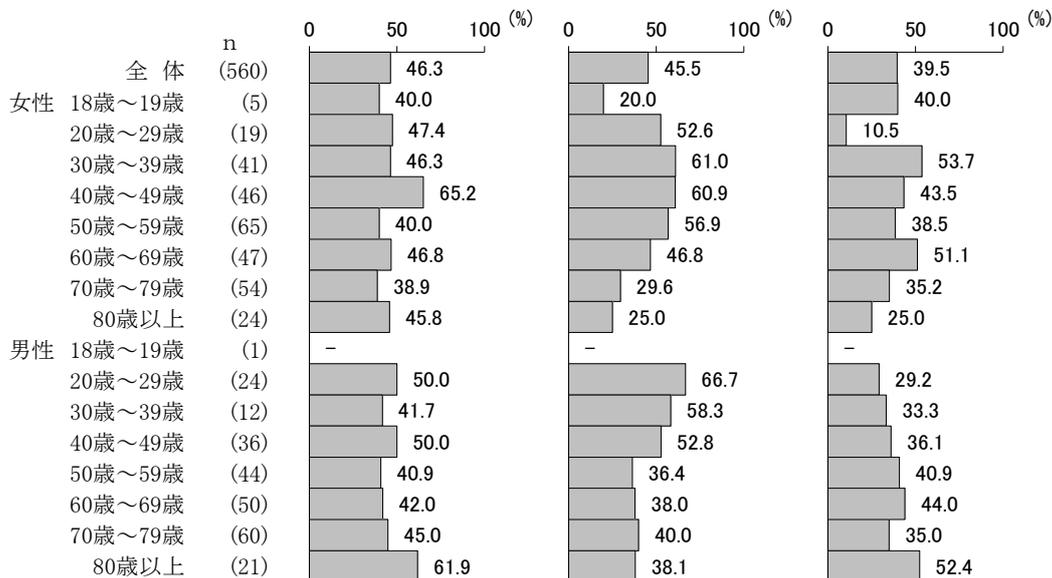
第2章 調査結果の詳細

【性年齢別 上位6項目】

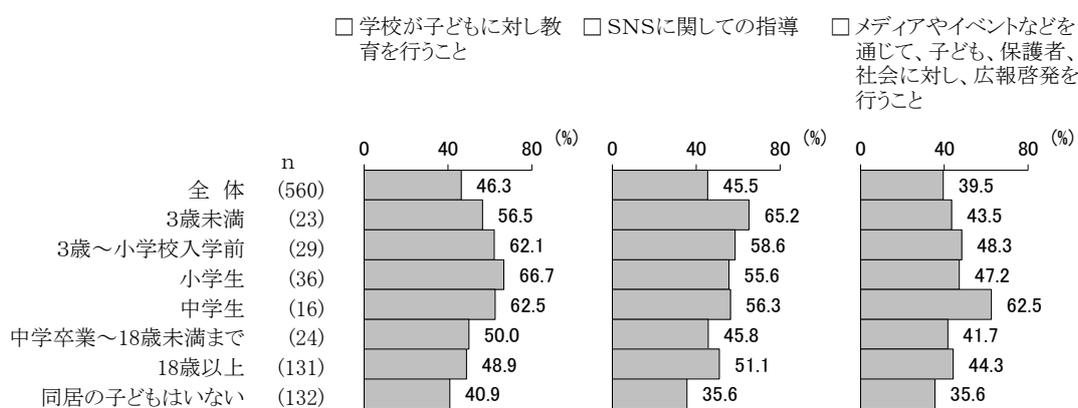
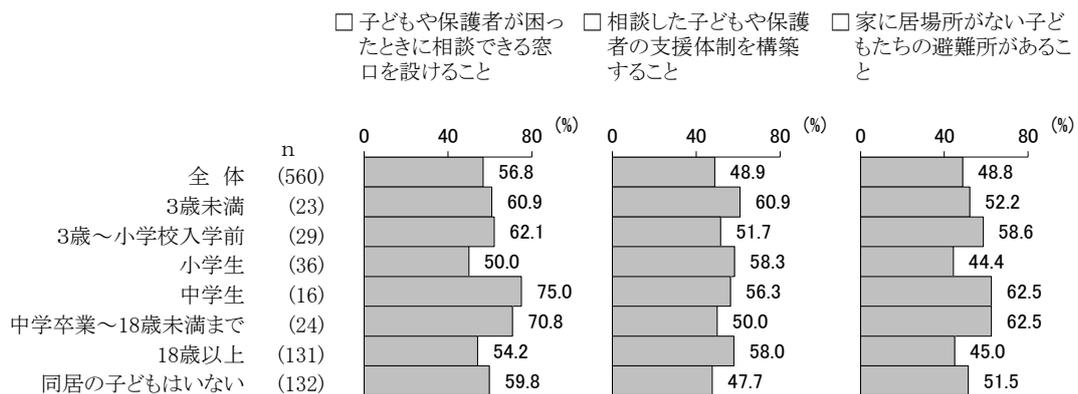
- 子どもや保護者が困ったときに相談できる窓口を設けること
- 相談した子どもや保護者の支援体制を構築すること
- 家に居場所がない子どもたちの避難所があること



- 学校が子どもに対し教育を行うこと
- SNSに関する指導
- メディアやイベントなどを通じて、子ども、保護者、社会に対し、広報啓発を行うこと



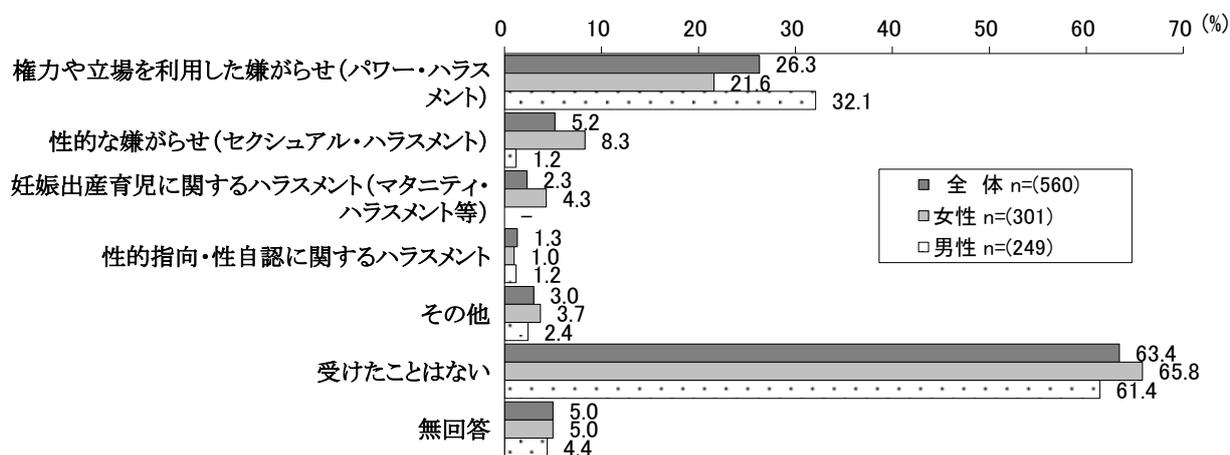
【末子の年齢別 上位6項目】



10. ハラスメントに関することについて

(1) ハラスメントを受けた経験

問35 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。
（〇はいくつでも）

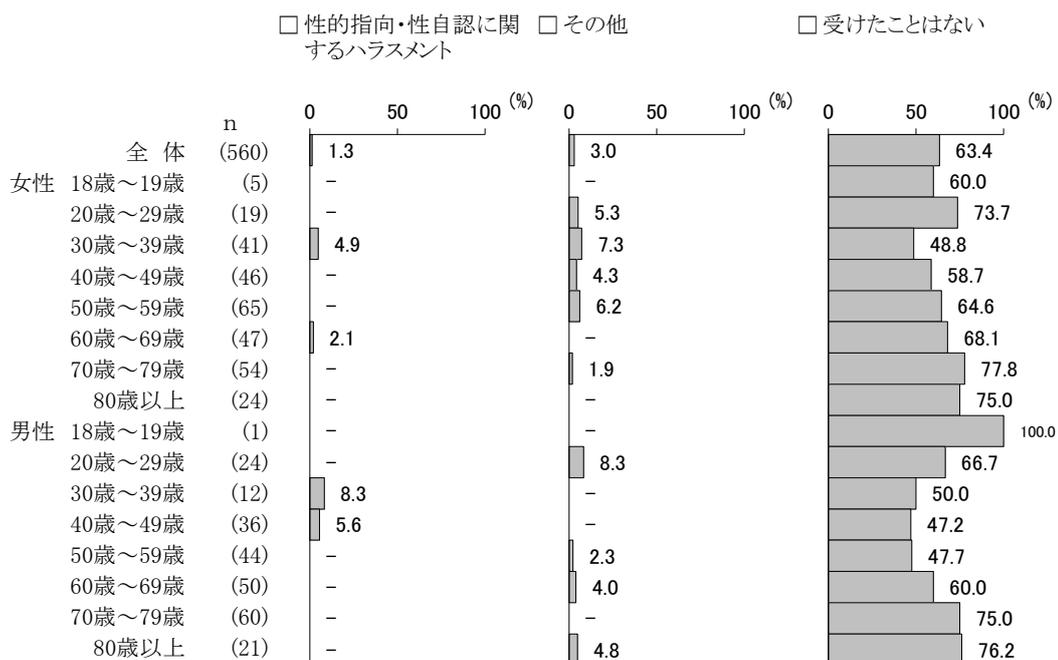
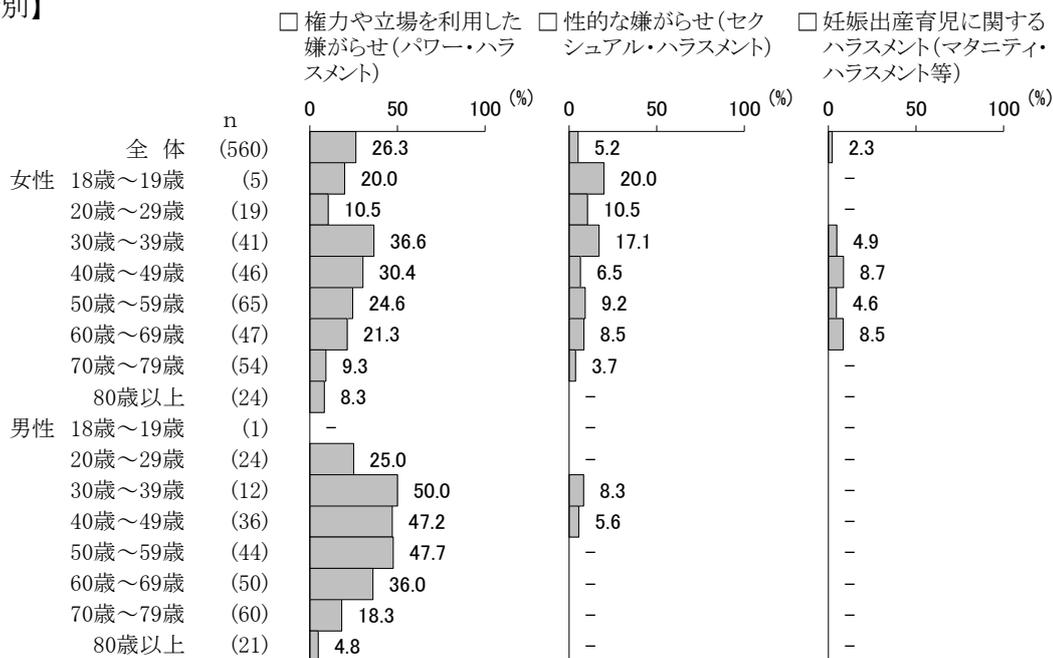


ハラスメントを受けた経験は、「受けたことはない」が63.4%で最も高く、「権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」が26.3%、「性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）」が5.2%となっています。

男女別で見ると、女性において「性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）」が男性と比べて7.1ポイント高くなっています。

一方で、男性において「権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」が女性と比べて10.5ポイント高くなっています。

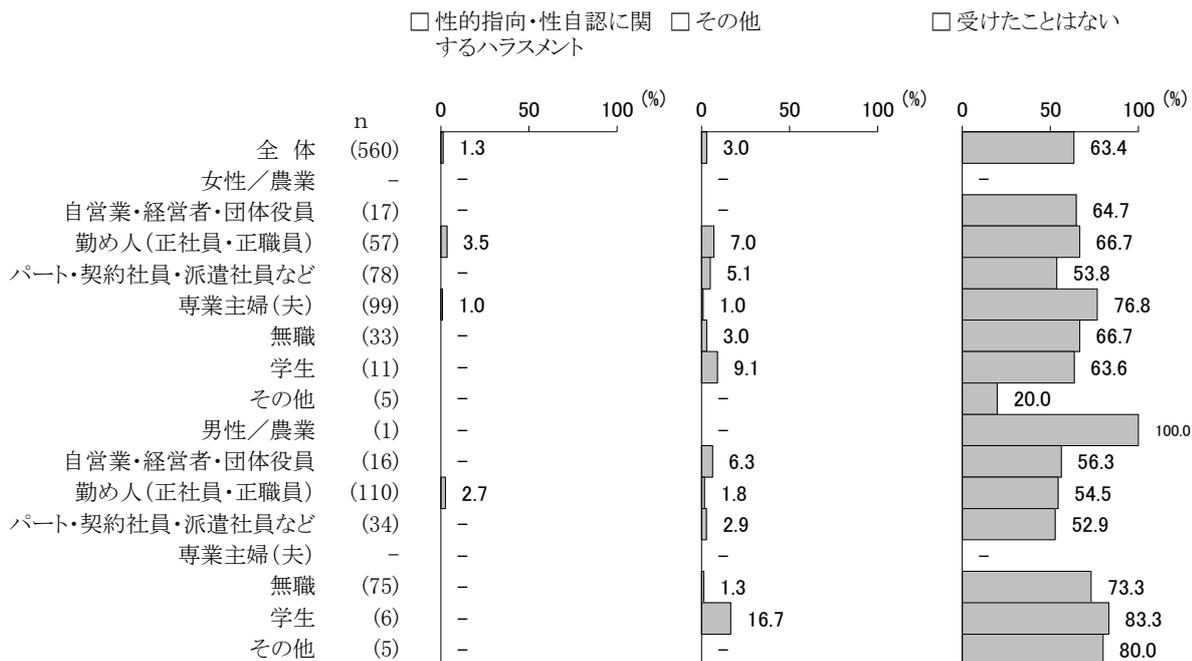
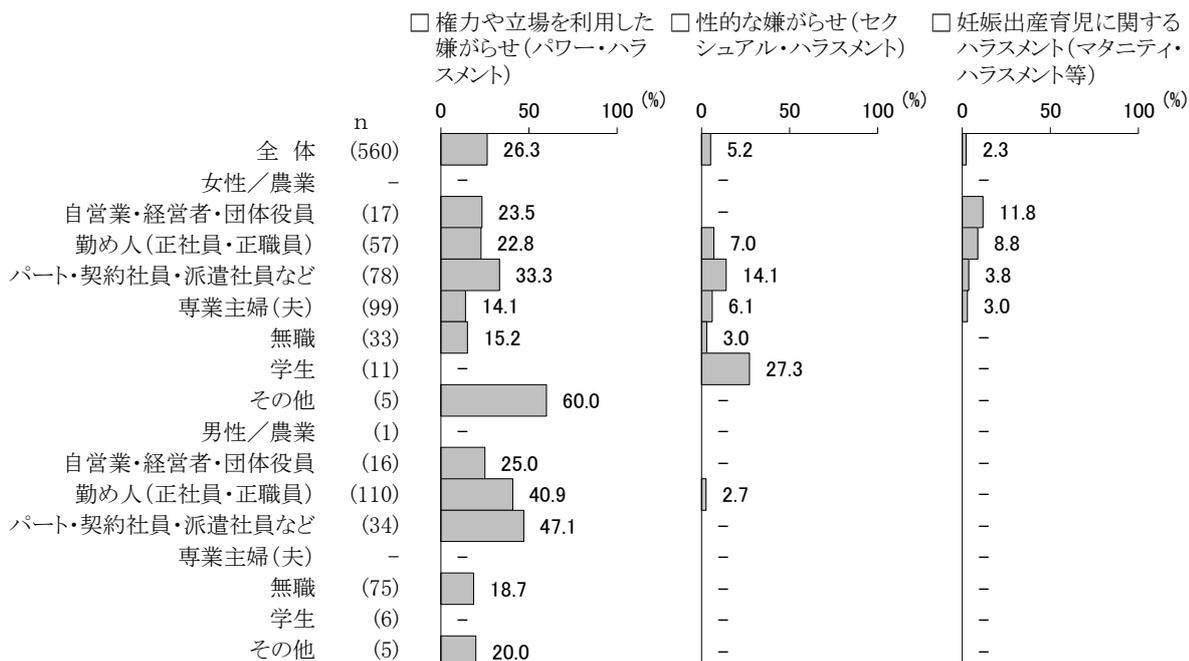
【性年齢別】



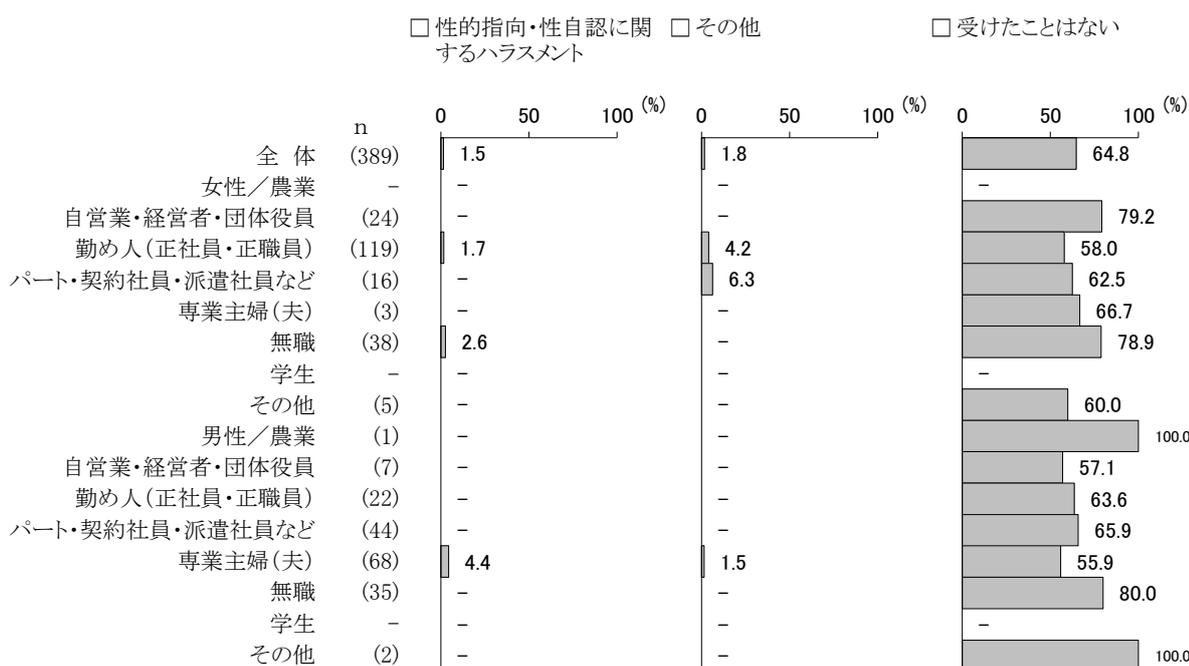
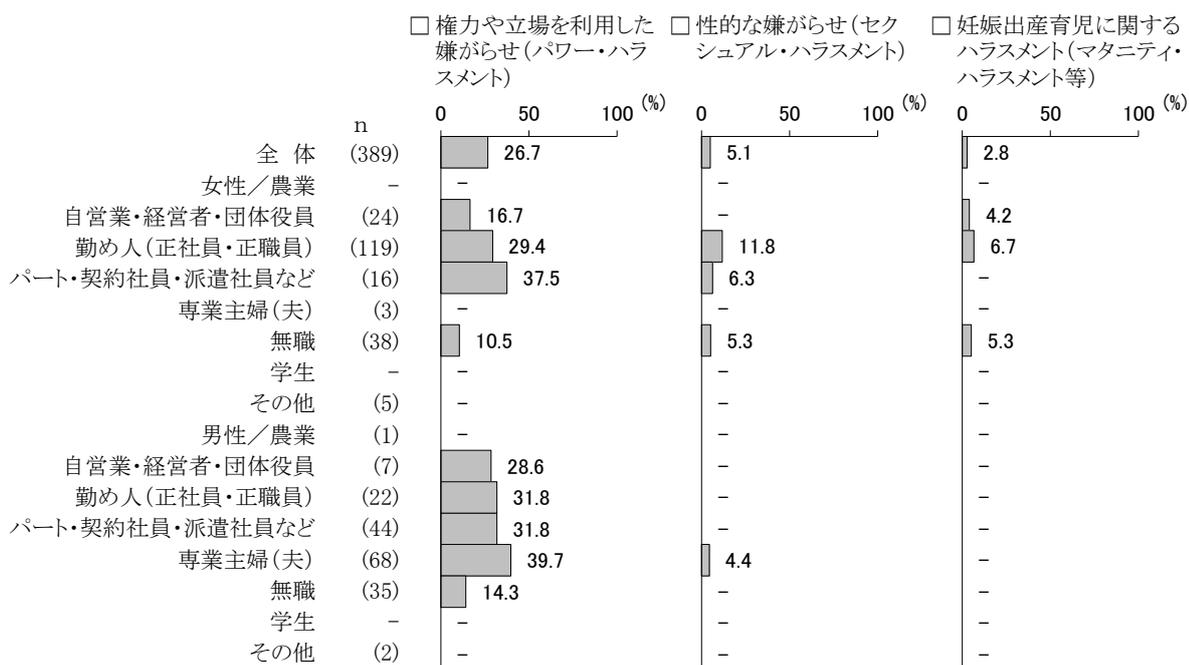
性年齢別で見ると、「権力や立場を利用した嫌がらせ(パワー・ハラスメント)」は男女ともに年齢が若いほど高い傾向にあり、男性の30歳～39歳において50.0%となっています。

第2章 調査結果の詳細

【性別×本人の職業別】

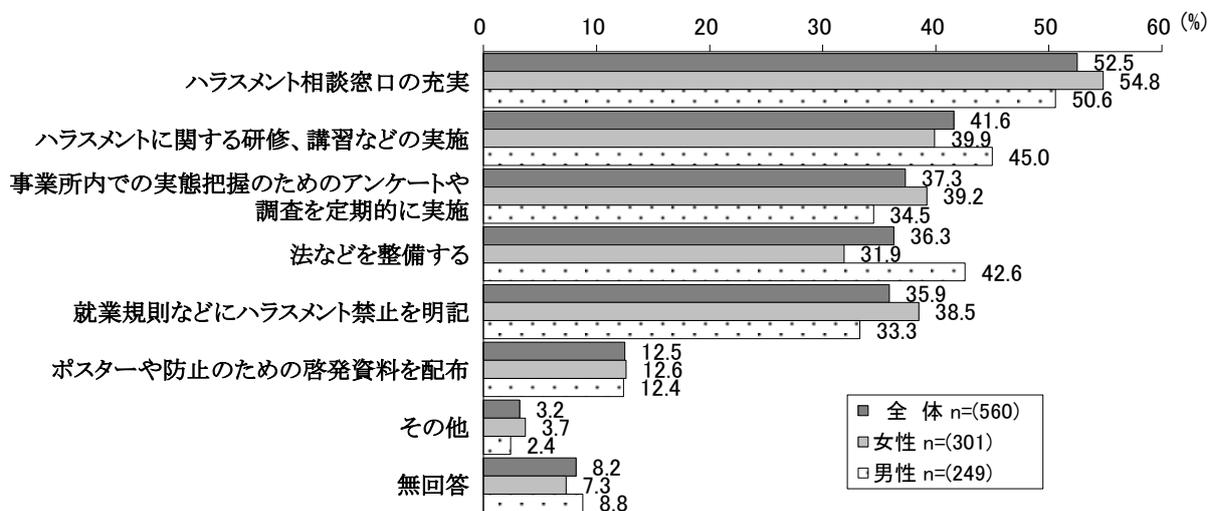


【性別×パートナーの職業別】



(2) 取り組んでほしいハラスメント対策

問36 ハラスメント対策として取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

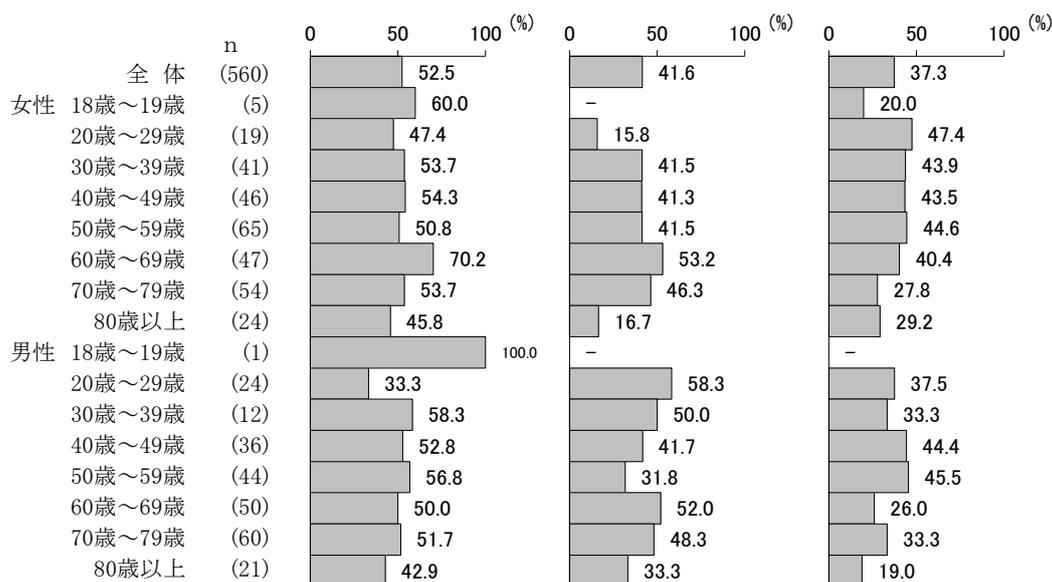


取り組んでほしいハラスメント対策は、「ハラスメント相談窓口の充実」が52.5%で最も高く、次いで「ハラスメントに関する研修、講習などの実施」が41.6%、「事業所内での実態把握のためのアンケートや調査を定期的実施」が37.3%となっています。

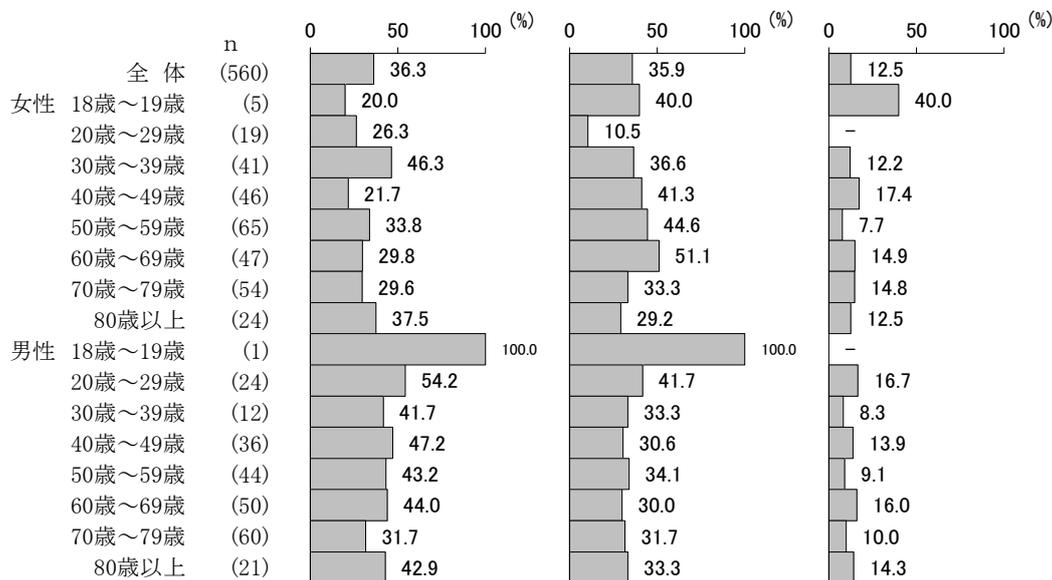
男女別で見ると、男性において「法などを整備する」が10.7ポイント、「ハラスメントに関する研修、講習などの実施」が5.1ポイント、女性と比べて高くなっています。

【性年齢別 上位6項目】

- ハラスメント相談窓口の充実
- ハラスメントに関する研修、講習などの実施
- 事業所内での実態把握のためのアンケートや調査を定期的の実施



- 法などを整備する
- 就業規則などにハラスメント禁止を明記
- ポスターや防止のための啓発資料を配布



第2章 調査結果の詳細

【性別×本人の職業別】

		調査数	のハラスメント相談窓口の充実	研修、講習などの実施	調査のための定期的な実施	事業所内での実態把握	法などを整備する	就業規則などにハラスメント禁止を明記	ポストターや防止のための啓発資料を配布	その他	無回答
全体		560	52.5	41.6	37.3	36.3	35.9	12.5	3.2	8.2	
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	17	29.4	41.2	29.4	29.4	29.4	23.5	-	-	
	勤め人(正社員・正職員)	57	59.6	42.1	45.6	35.1	33.3	7.0	1.8	3.5	
	パート・契約社員・派遣社員など	78	53.8	43.6	44.9	25.6	43.6	12.8	7.7	6.4	
	専業主婦(夫)	99	60.6	41.4	38.4	34.3	39.4	15.2	3.0	11.1	
	無職	33	45.5	27.3	30.3	30.3	36.4	9.1	3.0	12.1	
	学生	11	63.6	9.1	36.4	36.4	18.2	18.2	-	-	
	その他	5	40.0	60.0	-	60.0	80.0	-	-	-	
男性	農業	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	16	37.5	25.0	18.8	43.8	18.8	12.5	-	18.8	
	勤め人(正社員・正職員)	110	51.8	43.6	39.1	40.0	28.2	10.9	1.8	4.5	
	パート・契約社員・派遣社員など	34	44.1	55.9	23.5	52.9	41.2	14.7	-	5.9	
	専業主婦(夫)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無職	75	54.7	42.7	34.7	42.7	40.0	13.3	5.3	13.3	
	学生	6	33.3	66.7	33.3	66.7	50.0	16.7	-	-	
	その他	5	60.0	60.0	80.0	-	20.0	20.0	-	20.0	

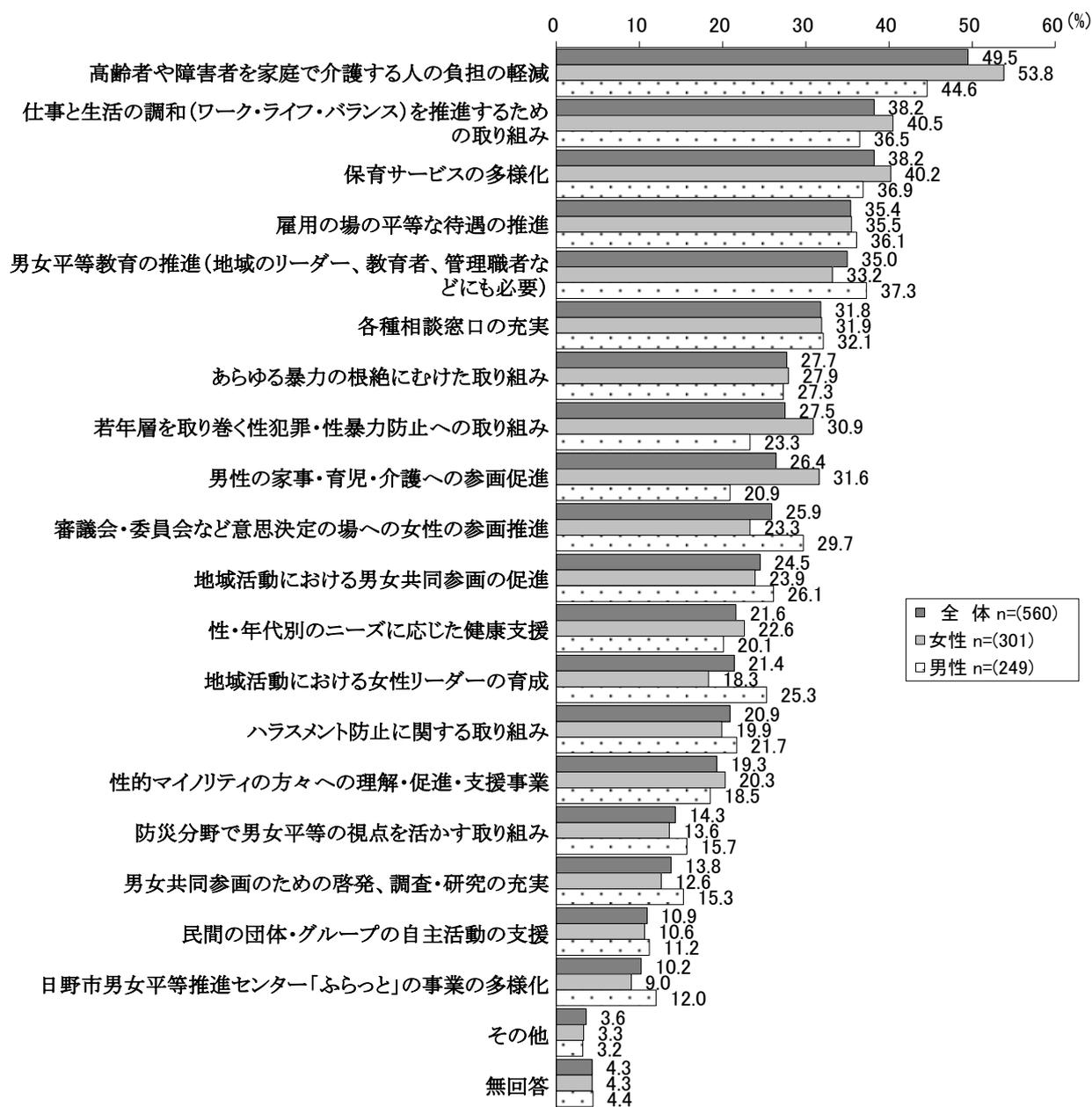
【性別×パートナーの職業別】

		調査数	のハラスメント相談窓口の充実	研修、講習などの実施	調査のための定期的な実施	事業所内での実態把握	法などを整備する	就業規則などにハラスメント禁止を明記	ポストターや防止のための啓発資料を配布	その他	無回答
全体		389	53.7	43.4	38.6	37.8	34.4	13.4	3.3	6.9	
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	24	41.7	58.3	33.3	37.5	45.8	20.8	4.2	4.2	
	勤め人(正社員・正職員)	119	54.6	40.3	43.7	40.3	23.5	12.6	4.2	5.0	
	パート・契約社員・派遣社員など	16	68.8	68.8	37.5	37.5	31.3	25.0	12.5	-	
	専業主婦(夫)	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	
	無職	38	52.6	34.2	36.8	39.5	39.5	13.2	2.6	10.5	
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	5	80.0	20.0	20.0	40.0	40.0	-	20.0	20.0	
男性	農業	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	7	42.9	14.3	14.3	28.6	-	-	-	14.3	
	勤め人(正社員・正職員)	22	40.9	45.5	45.5	40.9	54.5	18.2	-	4.5	
	パート・契約社員・派遣社員など	44	68.2	59.1	52.3	38.6	45.5	11.4	2.3	-	
	専業主婦(夫)	68	50.0	41.2	35.3	33.8	42.6	14.7	2.9	5.9	
	無職	35	54.3	37.1	14.3	31.4	28.6	8.6	-	22.9	
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	

11. 日野市が取り組むべきことについて

(1) 日野市が特に力を入れていくべき男女平等に向けた取り組み

問37 男女平等に向けた以下の取り組みのうち、日野市が特に力を入れていくべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)



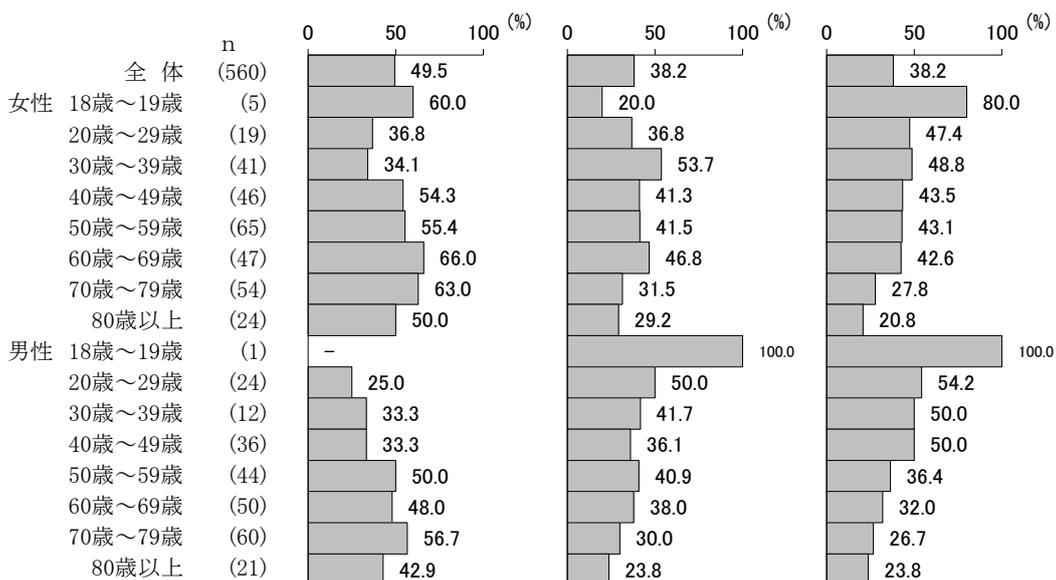
日野市が特に力を入れていくべき男女平等に向けた取り組みは、「高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減」が49.5%で最も高く、次いで「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進するための取り組み」、「保育サービスの多様化」が38.2%、「雇用の場の平等な待遇の推進」が35.4%となっています。

男女別で見ると、女性において「男性の家事・育児・介護への参画促進」が10.7ポイント、「高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減」が9.2ポイント、男性と比べて高くなっています。一方で、男性において「地域活動における女性リーダーの育成」が女性と比べて7.0ポイント高くなっています。

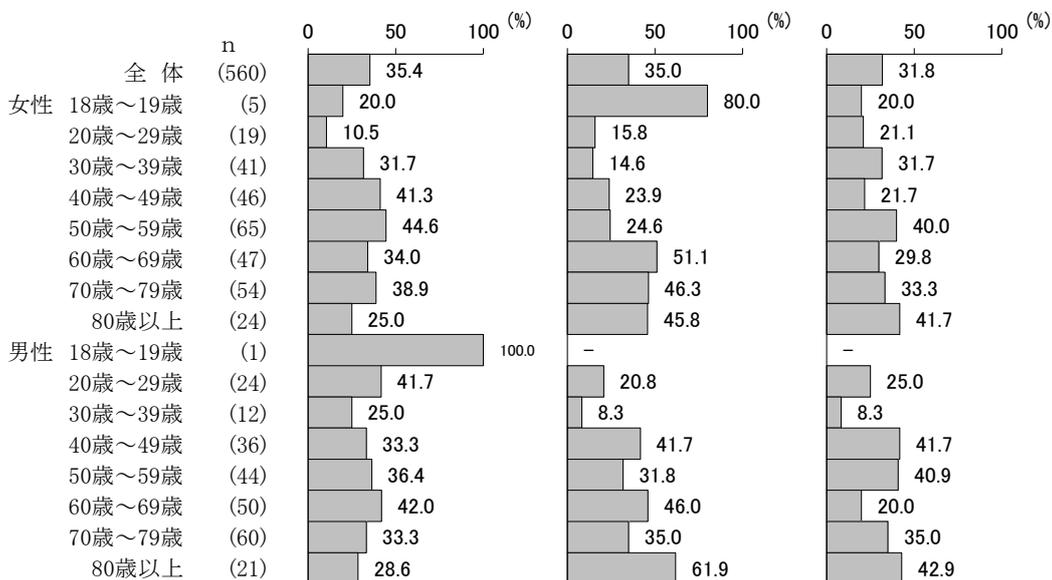
第2章 調査結果の詳細

【性年齢別 上位6項目】

- 高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減
- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進するための取り組み
- 保育サービスの多様化

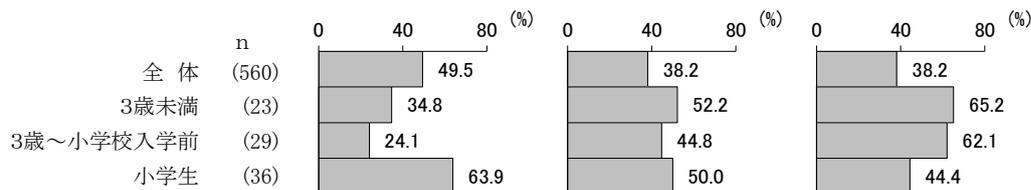


- 雇用の場の平等な待遇の推進
- 男女平等教育の推進(地域のリーダー、教育者、管理職者などにも必要)
- 各種相談窓口の充実

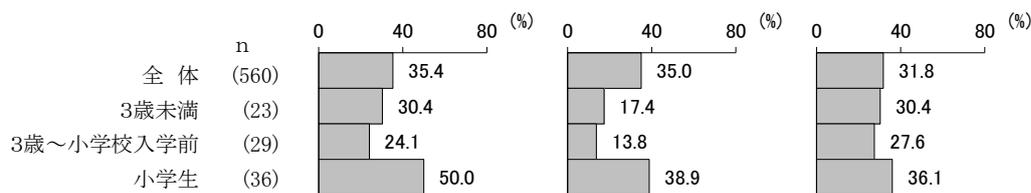


【末子の年齢別 上位6項目】

- 高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減
- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進するための取り組み
- 保育サービスの多様化



- 雇用の場の平等な待遇の推進
- 男女平等教育の推進(地域のリーダー、教育者、管理職者などにも必要)
- 各種相談窓口の充実



第2章 調査結果の詳細

【性別×本人の職業別】

	調査数	高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するための取り組み	保育サービスの多様化	雇用の場の平等な待遇の推進	男女平等教育の推進（地域のリーダー、教育者、管理者などにも必要）	各種相談窓口の充実	あらゆる暴力の根絶にむけた取り組み	若年層を取り巻く性犯罪・性暴力防止への取り組み	男性の家事・育児・介護への参画促進	審議会・委員会など意思決定の場への女性の参画推進	地域活動における男女共同参画の促進	
全体	560	49.5	38.2	38.2	35.4	35.0	31.8	27.7	27.5	26.4	25.9	24.5	
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	17	41.2	35.3	29.4	23.5	23.5	35.3	11.8	29.4	23.5	17.6	
	勤め人（正社員・正職員）	57	36.8	43.9	42.1	35.1	22.8	28.1	24.6	26.3	17.5	14.0	
	パート・契約社員・派遣社員など	78	57.7	46.2	51.3	44.9	25.6	33.3	33.3	30.8	26.9	23.1	
	専業主婦（夫）	99	60.6	40.4	34.3	36.4	44.4	35.4	31.3	31.3	26.3	32.3	
	無職	33	60.6	33.3	24.2	27.3	39.4	33.3	24.2	36.4	33.3	15.2	18.2
	学生	11	45.5	27.3	63.6	18.2	36.4	27.3	9.1	45.5	54.5	27.3	27.3
	その他	5	80.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	60.0	20.0	40.0
男性	農業	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	100.0	-	
	自営業・経営者・団体役員	16	31.3	18.8	18.8	37.5	31.3	37.5	18.8	12.5	25.0	25.0	
	勤め人（正社員・正職員）	110	40.9	40.0	45.5	31.8	29.1	30.9	23.6	23.6	16.4	22.7	
	パート・契約社員・派遣社員など	34	61.8	38.2	26.5	44.1	47.1	23.5	23.5	17.6	26.5	29.4	
	専業主婦（夫）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	無職	75	46.7	32.0	30.7	36.0	45.3	37.3	33.3	26.7	25.3	42.7	32.0
	学生	6	33.3	100.0	83.3	66.7	33.3	33.3	50.0	33.3	50.0	16.7	16.7
	その他	5	60.0	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0

	調査数	性・年代別のニーズに応じた健康支援	地域の活動における女性リーダーの育成	取り組むハラスメント防止に関する取り組み	性的マイノリティの方々への理解・促進・支援事業	防災分野で男女平等の視点を活かす取り組み	男女共同参画のための啓発、調査・研究の充実	民間の団体・グループの自主活動の支援	多様な「ふらっと」の事業の推進	日野市男女平等推進センター	その他	無回答
全体	560	21.6	21.4	20.9	19.3	14.3	13.8	10.9	10.2	3.6	4.3	
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業・経営者・団体役員	17	11.8	11.8	-	5.9	5.9	5.9	-	11.8	-	
	勤め人（正社員・正職員）	57	10.5	12.3	10.5	17.5	10.5	5.3	5.3	7.0	7.0	5.3
	パート・契約社員・派遣社員など	78	23.1	10.3	26.9	15.4	10.3	10.3	12.8	10.3	1.3	5.1
	専業主婦（夫）	99	32.3	25.3	20.2	24.2	17.2	17.2	11.1	9.1	2.0	4.0
	無職	33	12.1	24.2	27.3	18.2	18.2	15.2	12.1	9.1	3.0	6.1
	学生	11	36.4	27.3	27.3	45.5	18.2	27.3	9.1	9.1	-	-
	その他	5	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	-	-
男性	農業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業・経営者・団体役員	16	18.8	25.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3
	勤め人（正社員・正職員）	110	21.8	23.6	24.5	16.4	15.5	14.5	8.2	10.9	1.8	2.7
	パート・契約社員・派遣社員など	34	17.6	26.5	14.7	20.6	14.7	17.6	11.8	14.7	2.9	2.9
	専業主婦（夫）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	75	20.0	29.3	22.7	20.0	20.0	17.3	17.3	12.0	5.3	6.7
	学生	6	33.3	-	33.3	50.0	-	16.7	-	16.7	-	-
	その他	5	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-

【性別×パートナーの職業別】

	調査数	高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するための取り組み	保育サービスの多様化	男女平等教育の推進（地域のリーダー、教育者、管理者などにも必要）	雇用の場の平等な待遇の推進	各種相談窓口の充実	審議会・委員会など意思決定の場への女性の参画推進	若年層を取り巻く性犯罪・性暴力防止への取り組み	地域活動における男女共同参画の促進	あらゆる暴力の根絶にむけた取り組み	男性の家事・育児・介護への参画促進
全体	389	52.2	40.4	40.4	35.7	35.5	33.7	27.8	27.5	26.5	25.7	25.4
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自営業・経営者・団体役員	24	29.2	33.3	37.5	29.2	25.0	37.5	25.0	25.0	20.8	33.3
	勤め人（正社員・正職員）	119	58.0	49.6	48.7	23.5	40.3	34.5	17.6	31.9	21.0	26.9
	パート・契約社員・派遣社員など	16	43.8	43.8	56.3	31.3	43.8	25.0	18.8	31.3	12.5	25.0
	専業主婦（夫）	3	66.7	66.7	-	66.7	-	33.3	100.0	33.3	66.7	33.3
	無職	38	71.1	28.9	28.9	47.4	26.3	39.5	28.9	28.9	36.8	23.7
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	5	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	
男性	農業	1	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-
	自営業・経営者・団体役員	7	28.6	28.6	14.3	42.9	28.6	28.6	71.4	14.3	28.6	14.3
	勤め人（正社員・正職員）	22	40.9	54.5	50.0	36.4	45.5	27.3	27.3	27.3	18.2	22.7
	パート・契約社員・派遣社員など	44	50.0	40.9	47.7	36.4	45.5	47.7	34.1	20.5	38.6	27.3
	専業主婦（夫）	68	51.5	39.7	38.2	41.2	29.4	32.4	25.0	25.0	26.5	30.9
	無職	35	51.4	22.9	22.9	51.4	28.6	28.6	42.9	22.9	22.9	22.9
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	

	調査数	地域の活動における女性リーダーの育成	性・年代別のニーズに応じた健康支援	取り戻すハラスメント防止に関する取り組み	性的マイノリティの方々の理解・促進・支援事業	防災分野で男女平等の視点を活かす取り組み	男女共同参画の充実	民間の団体・グループの自主活動の支援	多様化	日野市男女平等推進センタ「ふらっと」の事業の	その他	無回答
全体	389	22.4	21.6	20.8	19.3	13.4	12.9	11.3	9.8	3.3	3.6	
女性	農業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	24	12.5	8.3	12.5	16.7	4.2	20.8	8.3	-	8.3	4.2
	勤め人（正社員・正職員）	119	17.6	25.2	21.8	21.8	13.4	8.4	10.1	9.2	3.4	2.5
	パート・契約社員・派遣社員など	16	-	18.8	18.8	12.5	-	6.3	25.0	-	6.3	6.3
	専業主婦（夫）	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-
	無職	38	28.9	31.6	15.8	18.4	18.4	15.8	13.2	10.5	-	5.3
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	
男性	農業	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	自営業・経営者・団体役員	7	28.6	28.6	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-
	勤め人（正社員・正職員）	22	22.7	13.6	27.3	22.7	22.7	18.2	4.5	18.2	-	-
	パート・契約社員・派遣社員など	44	27.3	20.5	22.7	18.2	15.9	20.5	11.4	15.9	2.3	2.3
	専業主婦（夫）	68	27.9	20.6	25.0	17.6	13.2	11.8	10.3	8.8	2.9	2.9
	無職	35	31.4	14.3	17.1	17.1	5.7	11.4	17.1	11.4	5.7	8.6
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	-	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	

調査票

日野市男女平等についての市民意識アンケート ～あなたの声をお聞かせください～

● 調査へのご協力をお願い ●

日ごろから、市政にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本調査は、市民のみなさまから男女平等に関するご意見やご感想をお聞きし、今後の施策を検討するための基礎資料とさせていただくことを目的に実施いたします。

今回の調査は、18歳から89歳までの市民のみなさまを対象に、住民基本台帳から1,500人を無作為に抽出して実施しています。

なお、本調査は、無記名で行い、集計結果は統計的に処理いたしますので、ご協力いただいたみなさまの個人情報公表されるようなことは一切ございません。率直なご意見をお聞かせいただきますよう、お願い申し上げます。

令和元年6月

日野市長 大坪冬彦

- あて名のご本人がお答えください。
- ご記入にあたっては、以下の要領をお願いいたします。
 - ① 回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
 - ② 質問によっては、○印が（1つ）（3つまで）（いくつでも）といった、ことわり書きがありますので、回答数にご注意ください。
 - ③ 回答者が限定される質問があります。その場合、該当する方のみお答えください。
 - ④ 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入がすみましたら、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**7月22日（月）まで**にお近くのポストにご投函ください。

《お問い合わせ》

日野市 企画部 男女平等課

〒191-0062 日野市多摩平2丁目9番地

☎042-584-2733

■ あなたについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 女性 | 2. 男性 | 3. 1、2以外 |
|-------|-------|----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 3. 30歳～39歳 | 5. 50歳～59歳 | 7. 70歳～79歳 |
| 2. 20歳～29歳 | 4. 40歳～49歳 | 6. 60歳～69歳 | 8. 80歳以上 |

問3 日野市にお住まいになって通算何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生まれた時からずっと住んでいる | 4. 転入して10年～20年未満 |
| 2. 転入して5年未満 | 5. 転入して20年～30年未満 |
| 3. 転入して5年～10年未満 | 6. 転入して30年以上 |

問4 あなたのご職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 農業 | 5. 専業主婦(夫) |
| 2. 自営業(家族従業者を含む)・経営者・団体役員 | 6. 無職 |
| 3. 勤め人(正社員・正職員) | 7. 学生 |
| 4. パート・契約社員・派遣社員など | 8. その他(具体的に：) |

問5 あなたは結婚されていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 結婚している(事実婚を含む) | 3. 結婚していたが離別した |
| 2. 結婚していない | 4. 結婚していたが死別した |

問5で「1. 結婚している(事実婚を含む)」とお答えの方にお伺いします。

問6 あなたのパートナーのご職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 農業 | 5. 専業主婦(夫) |
| 2. 自営業(家族従業者を含む)・経営者・団体役員 | 6. 無職 |
| 3. 勤め人(正社員・正職員) | 7. 学生 |
| 4. パート・契約社員・派遣社員など | 8. その他(具体的に：) |

問7 あなたの世帯構成をお答えください。(○は1つ)

※ご自身の立場(自分が親、自分が子ども)に関わらずお答えください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 一人暮らし | 4. 二世帯世帯(親と子ども夫婦) |
| 2. 夫婦のみ(一世帯世帯) | 5. 三世帯世帯(親と子どもと孫)またはそれ以上 |
| 3. 核家族(親と未婚の子ども) | 6. その他(具体的に：) |

問8 同居のお子さんがある方は一番下のお子さんの年齢をお答えください。(〇は1つ)

1. 3歳未満	4. 中学生	7. 同居の子どもはいない
2. 3歳～小学校入学前	5. 中学卒業～18歳未満まで	
3. 小学生	6. 18歳以上	

■ 男女平等参画の意識について

問9 あなたは以下のような考え方についてどのように思われますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	やや そう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない
①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4
②パートナーには、できれば自分の意見に従ってほしい	1	2	3	4
③妻が仕事を持つのは、家族の負担が重くなり、よくない	1	2	3	4
④子どもは持った方がよい	1	2	3	4
⑤子どもは親と同居し、親を扶養するのがよい	1	2	3	4
⑥嫁に行った娘は、嫁ぎ先の家の人間だ	1	2	3	4
⑦長男が家を継ぎ、お墓を守るのがよい	1	2	3	4

問10 次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	男性の方が優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育	1	2	3	4	5
④ 政治	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度上	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・習慣・しきたりなど	1	2	3	4	5
⑦ 地域社会（自治会・PTAなど）の場	1	2	3	4	5
⑧ 社会全体	1	2	3	4	5

■ 家事・子育て・介護について

問11 次の中からあなたが主に行っているものをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|------------------------------|
| 1. 掃除 | 7. 子どもの世話・勉強の指導、送り迎え(園や習い事等) |
| 2. 洗濯 | 8. 学校のPTA活動や地域の役員 |
| 3. 食事の支度 | 9. 親の世話・介護等 |
| 4. 食事の後片付け | 10. その他(具体的に: _____) |
| 5. 買い物 | 11. この中に行っているものはない |
| 6. ゴミ出し | |

問12 あなたが行っている家事・育児・介護などに関わる1日あたりの従事時間はどのくらいですか。(○はそれぞれ1つずつ)

		関わっていない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間～8時間未満	8時間以上
平日	家事	1	2	3	4	5	6	7	8
	育児	1	2	3	4	5	6	7	8
	介護	1	2	3	4	5	6	7	8
休日	家事	1	2	3	4	5	6	7	8
	育児	1	2	3	4	5	6	7	8
	介護	1	2	3	4	5	6	7	8

問13 今後、男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に行っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと |
| 2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと |
| 3. パートナーとのコミュニケーションをよくはかること |
| 4. まわりの人が夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること |
| 5. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること |
| 6. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること |
| 7. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと |
| 8. 男性が家事・育児などを行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること |
| 9. マス・メディアで多様な性別役割分業が描かれること |
| 10. その他(具体的に: _____) |
| 11. わからない |
| 12. 特に必要なことはない |

問14 あなたは職業以外の社会活動、地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問14で「1. 参加している」とお答えの方にお伺いします。

問14-1 あなたはどのような活動に参加されていますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツなど健康増進のための活動 2. 趣味や文化・教養を高めるための活動 3. 町内会や自治会の活動 4. PTA・子ども会・スポーツ指導員などの活動 5. 子どもの見守り、子育て支援活動 6. 福祉活動などのボランティア活動 7. 消費生活、自然環境保護などの活動 8. 市や都から委嘱された委員など 9. シルバー人材センターでの活動 10. 消防団などの防災活動 11. 国際交流活動 12. NPOや市民活動主催の活動 13. その他（具体的に： _____) |
|---|

問14で「2. 参加していない」とお答えの方にお伺いします。

問14-2 参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 仕事が忙しいから 2. 家事・育児・介護などが忙しいから 3. 健康上の理由から 4. 経済的余裕がないから 5. 家族の理解や協力がなから 6. ひとりでは参加しにくいから 7. 活動や交流の場所がないから 8. 人間関係がわずらわしいから 9. 参加したい活動がないから 10. 参加方法がわからない、きっかけ、情報がないから 11. こうした活動に興味がないから 12. その他（具体的に： _____) |
|--|

■ 防災分野に男女平等の視点から必要なこと

問15 防災分野で男女平等の視点を活かすために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 防災分野の委員会や会議により多くの女性が参加できるようにする
2. 災害対応や復興においてリーダーとなれる女性を育成する
3. 災害に関する各種マニュアル等に男女平等の視点を入れる
4. 避難所運営や設備、備蓄品などについて、過去の災害時に課題になった点を見直すこと
5. 様々なニーズに合わせた備蓄品を用意する
6. 消防職員・消防団員・警察官・自衛官などについて防災現場に女性が十分配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する
7. 災害時女性が陥る困難について男性向けの講演会を設ける（特に地域リーダー）
8. その他（具体的に： _____)
9. わからない

■ 仕事について

問16 女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。最も近いものをお選びください。
(〇は1つ)

1. 女性はずっと職業を持たない方が良い
2. 結婚するまでは職業を持ち、結婚したら辞めてその後職業を持たない
3. 子どもができるまで職業を持ち、子どもができたなら辞めてその後職業を持たない
4. 結婚や出産などで一時辞めるが、子どもが大きくなったら再び職業を持つ
5. 結婚や出産に関わらず、ずっと職業を続ける方が良い
6. 家族や自分の状況に応じて、就職・転職・離職に柔軟に対応するのが良い

問17 問16でそのように考えた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 働くことを通じて自己実現が図れると思うから
2. 女性も経済力をもった方がよいと思うから
3. 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから
4. 女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから
5. 少子高齢化で働き手が減少しているので、女性も働いた方がよいと思うから
6. 子どもは母親が家で面倒を見た方がよいと思うから
7. 保育料などを払うより、母親が家で面倒を見た方が合理的だと思うから
8. 仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから
9. 働き続けるのは大変そうだと思うから
10. 女性は家庭を守るべきだと思うから
11. 女性一人ひとりが自分のことを自分で決められることが大事だから
12. その他（具体的に： _____)
13. 特にない

問18 次のうち、あなたが利用したことのあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 育児休業制度
2. 介護休業制度
3. どれも利用したことがない

問18で「3. どれも利用したことがない」とお答えの方にお伺いします。

問18-1 制度を利用したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 休業制度がなかったから
2. 休業制度があることを知らなかったから
3. 自分がしなくても家庭内にしてくれる人がいたから
4. それを機に退職したから
5. 休業制度を取りにくい職場の雰囲気があったから
6. 制度を利用すると収入が減るから
7. 自分の仕事や昇進・昇格に支障がでるから
8. 制度はあったが、期間、時間などが対象とならなかったから
9. その他 ()
10. 子どももおらず、介護の必要な人も周りにいなかったから
11. 働いたことがないから

問19 育児や介護の休業制度を男女ともに取りやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 職場に利用しやすい雰囲気があること
2. 以前に育児・介護休業を利用した人の例があること
3. 上司や同僚などの理解や協力があること
4. 休業中の賃金や手当などの経済的支援があること
5. 育児・介護休業を利用したことによって、昇進や昇格に影響が出ないこと
6. 休業中の代替要員が確保されること
7. 復帰後の仕事が保障されること
8. その他 (具体的に:)

問20 管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. やりがいのある仕事ができる | 8. 責任が重くなる |
| 2. 賃金があがる | 9. やっかみが出て足を引っ張られる |
| 3. 能力が認められた結果である | 10. 仕事と家庭の両立が困難になる |
| 4. 家族から評価される | 11. 出費が増える |
| 5. 自分自身で決められる事柄が多くなる | 12. その他 |
| 6. やるべき仕事が増える | (具体的に:) |
| 7. 残業、労働時間が増える | 13. わからない |

問23 政治・経済・地域などの各分野で女性参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される
2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる
3. 女性の声が政治、経済、地域などに反映されやすくなる
4. 国際社会から好印象を得ることができる
5. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる
6. 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる
7. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む
8. 男性の家事・育児などへの参加が増える
9. 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる
10. 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担及び公的負担が増大する
11. その他（具体的に： _____)

問24 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害になるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分でないこと
5. 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. その他（具体的に： _____)

問25 あなたの職場では性別により次のような違いがありますか。(〇はいくつでも)

1. 賃金に差別がある
2. 昇進、昇格に差別がある
3. 能力が正当に評価されない
4. 補助的な仕事しかやらせてもらえない
5. 女性を幹部職員に登用しない
6. 結婚したり子どもが生まれたりすると勤めにくい雰囲気がある
7. 女性は定年まで勤めにくい雰囲気がある
8. 女性が教育・訓練を受ける機会が少ない
9. その他（具体的に： _____)
10. 特にない

■ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問26 あなたは「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。
(○は1つ)

1. 言葉も内容も知っている
2. 見たり聞いたりしたことはあるが、内容は知らない
3. 言葉も内容も知らない

問27 「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」の実現のために必要なことは何だと思えますか。(○は3つまで)

1. 長時間労働を削減すること
2. 育児・介護休業制度を利用しても不利にならない人事評価制度を作ること
3. 短時間勤務やフレックスタイム制度の導入、在宅勤務等でのテレワークなど柔軟な働き方を選ぶようにすること
4. 育児・介護休業時の経済的補償を充実すること
5. 保育・介護の施設やサービスを充実すること
6. 男女の雇用機会や昇進、待遇格差がなくなること
7. 職場の人材を補充すること
8. 職場や上司の理解・協力を得ること
9. 「男は仕事、女は家庭」という社会通念を改めること
10. 家族の理解・協力を得ること
11. 非正規社員の労働条件が向上すること
12. 政治家や社会に影響力がある人が率先してワーク・ライフ・バランスを実現している様子を示すこと
13. その他(具体的に：)

※ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和と訳され、それが実現した社会は、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされています。

■ 性的マイノリティに関することについて

※性的マイノリティ：同性愛者や、自分の性に違和感を覚える人、または性同一性障害などの人々のこと。

問28 あなたは今までに自分の性に違和感を覚えたり、悩んだことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問28で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。

問28-1 それはいつ頃からですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 年少期（未就学期） | 5. 16歳～19歳 |
| 2. 小学校1年～3年 | 6. 20歳～29歳 |
| 3. 小学校4年～6年 | 7. 30歳～39歳 |
| 4. 中学校 | 8. 40歳以上 |

問28で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。

問28-2 そのことを誰かに相談しましたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 相談した | 3. 相談しようと思わなかった |
| 2. 相談したかったが、相談しなかった | 4. どうしていいかわからなかった |

問28-2で「1. 相談した」とお答えの方にお伺いします。

問28-2-1 誰（どこ）に相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 親族 | |
| 2. 友人・知人 | |
| 3. 市役所の相談窓口・電話相談 | |
| 4. 学校の先生（保健室） | |
| 5. 学校の先生（保健室以外：具体的に |) |
| 6. 医師・看護師・カウンセラー | |
| 7. 当事者のための交流スペース等にて | |
| 8. その他（具体的に： |) |

問28-2で「2」、「3」、「4」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問28-2-2 相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 誰（どこ）に相談してよいか、わからなかった | |
| 2. 相談する人がいなかった | |
| 3. 人に相談することに抵抗があった | |
| 4. 相談しても信じてもらえないと思った | |
| 5. 相談した人から他人にばらされと思った | |
| 6. 就職活動や仕事上で不利になると思った | |
| 7. 相談したことで関係性が損なわれると思った | |
| 8. その他（具体的に： |) |

調査票

問29 あなたは身近な人などからカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することができますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

※カミングアウト：性的マイノリティであることを告白すること。

問30 性的マイノリティに対する自治体の取り組みとしてどのような対策が必要だと思えますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 相談窓口を設置する |
| 2. コミュニティスペースの充実 |
| 3. 当事者が利用しやすいトイレなどの施設面での充実 |
| 4. 学校教育の充実や配慮（授業や講演会の実施、制服などへの配慮） |
| 5. 市職員や教員への研修 |
| 6. 市民や企業等への意識啓発を行う |
| 7. 雇用面で不利益が生じないようにする |
| 8. パートナーシップ制度の導入 |
| 9. 災害時での配慮や支援体制の充実 |
| 10. その他（具体的に： _____） |
| 11. 必要ない |
| 12. わからない |

※パートナーシップ制度：法律上の婚姻とは異なるものとして、男女の婚姻関係と異なる程度の実質を備えた、戸籍上の性別が同じ二者間の社会生活における関係を「パートナーシップ」と定義し、一定の条件を満たした場合にパートナーの関係であることを証明する制度

■ 配偶者や交際相手からの暴力について

問31 あなたは配偶者や交際相手から次のような行為をされたことがありますか。

(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. たたく、殴る、蹴るなど身体的暴力 |
| 2. 大声でどなる、殴るふりをするなど恐怖感を与える |
| 3. 外出などを制限する |
| 4. 交友関係や電話・メールを細かく監視する |
| 5. 何を言っても無視する |
| 6. 性的な行為を強要したり避妊に協力しない |
| 7. 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと侮辱的なことを言う |
| 8. 生活費を十分に渡さない |
| 9. 特にない |

問31で「1」～「8」のいずれか1つでもお答えの方にお伺いします。

問31-1 そのことについて誰かに相談しましたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 相談した | 3. 相談しようと思わなかった |
| 2. 相談したかったが、相談しなかった | 4. どうしていいかわからなかった |

問31-1で「1. 相談した」とお答えの方にお伺いします。

問31-1-1 誰(どこ)に相談しましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 親族 | 6. 弁護士など |
| 2. 友人・知人 | 7. 民生・児童委員など |
| 3. 市役所の相談窓口・電話相談 | 8. 医師・看護師・カウンセラー |
| 4. 市役所以外の公の相談窓口(国、都など) | 9. その他 |
| 5. 警察 | (具体的に：) |

問31-1で「2」、「3」、「4」のいずれかとお答えの方にお伺いします。

問31-1-2 相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 誰(どこ)に相談してよいか、わからなかった |
| 2. 相談する人がいなかった |
| 3. 人に相談することに抵抗があった |
| 4. 相談しても無駄だと思った |
| 5. 相談したことがわかると、さらにひどい暴力を受けると思った |
| 6. 我慢すればこのままやっていけると思った |
| 7. 子どもにも暴力を振るわれると思った |
| 8. 他人に迷惑をかけたくなかった |
| 9. 自分にも落ち度があると思った |
| 10. 相談するほどのことではないと思った |
| 11. 暴力を受けたという自覚がなかった |
| 12. その他(具体的に：) |

調査票

問32 あなたは、配偶者間や交際相手からの暴力（ドメスティックバイオレンス）防止また、被害者支援のためにどのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 病院、警察、市役所、子ども家庭支援センター等に相談窓口などを増やす
2. 相談先が記入されたカードやリーフレットを手に取りやすい場所に置く
3. 家庭内や恋人間であっても暴力は犯罪であることを広く啓発する
4. すぐに駆け込める緊急避難場所を増やす
5. 住居や就労のあっせん、経済的支援など自立するための支援策の充実
6. 被害者支援に関係する人（警察、医師、相談員）の意識、能力を高める
7. 加害者更生に向けての取組の充実
8. 学校教育にてDVについて教える
9. 個人情報等の秘密漏えい防止を徹底する
10. 専門知識を持ったカウンセラー、弁護士等のチームで一貫したサポート体制をとる
11. その他（具体的に： _____）
12. 必要ない
13. わからない

■ 若年層を取り巻く性犯罪・性暴力について

問33 AV出演強要やいわゆるJKビジネスなどの性犯罪についてこのような問題は何が原因と思いますか。（○はいくつでも）

1. 若年層の性を売り物にすることについての問題意識が低い社会の風潮の問題
2. 若年層の性を売り物にする事業者の問題
3. 利用する大人の問題
4. 事業者や客に対する取り締まりや規制の問題
5. 性犯罪などのより重大な被害に遭うおそれがあることを子どもに教えない、学校教育の問題
6. 子どものアルバイトなどについて関心や危険性の認識が低い、保護者、家庭の問題
7. 奨学金の返済負担が大きいため
8. 親や親族の借金を背負ってしまう等の問題
9. お金などのために自ら安易に性を売り物にする本人の問題
10. 児童虐待などにあい、家に子どもの居場所がない
11. PC、スマホ等の情報で、犯罪であるとの意識が薄いこと
12. その他（具体的に： _____）
13. 問題があると思わない
14. わからない

※JKビジネス：女子高生による男性への親密なサービスを売りにした商法のこと。

問34 問33のような問題より子どもが犯罪の被害に遭うのを防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 学校が子どもに対し教育を行うこと
2. メディアやイベントなどを通じて、子ども、保護者、社会に対し、広報啓発を行うこと
3. 子どもや保護者が困ったときに相談できる窓口を設けること
4. 相談した子どもや保護者の支援体制を構築すること
5. 家に居場所がない子どもたちの避難所があること
6. 取り締まりや規制を強化すること
7. SNSに関する指導
8. 高等教育の金銭的な個人負担を制度として減らしていくこと
9. その他（具体的に： _____)
10. わからない

■ ハラスメントに関することについて

問35 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。
(〇はいくつでも)

1. 権力や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）
2. 性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）
3. 妊娠出産育児に関するハラスメント（マタニティ・ハラスメント等）
4. 性的指向・性自認に関するハラスメント
5. その他（具体的に： _____)
6. 受けたことはない

問36 ハラスメント対策として取り組んでほしいことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. ハラスメント相談窓口の充実
2. ポスターや防止のための啓発資料を配布
3. ハラスメントに関する研修、講習などの実施
4. 事業所内での実態把握のためのアンケートや調査を定期的実施
5. 就業規則などにハラスメント禁止を明記
6. 法などを整備する
7. その他（具体的に： _____)

■ 日野市が取り組むべきことについて

問37 男女平等に向けた以下の取り組みのうち、日野市が特に力を入れていくべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等教育の推進（地域のリーダー、教育者、管理職者などにも必要）
2. 審議会・委員会など意思決定の場への女性の参画推進
3. 雇用の場の平等な待遇の推進
4. 地域活動における女性リーダーの育成
5. 地域活動における男女共同参画の促進
6. あらゆる暴力の根絶にむけた取り組み
7. 性・年代別のニーズに応じた健康支援
8. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進するための取り組み
9. 男性の家事・育児・介護への参画促進
10. 保育サービスの多様化
11. 高齢者や障害者を家庭で介護する人の負担の軽減
12. 男女共同参画のための啓発、調査・研究の充実
13. 各種相談窓口の充実
14. 民間の団体・グループの自主活動の支援
15. 日野市男女平等推進センター「ふらっと」の事業の多様化
16. 防災分野で男女平等の視点を活かす取り組み
17. 性的マイノリティの方々への理解・促進・支援事業
18. 若年層を取り巻く性犯罪・性暴力防止への取り組み
19. ハラスメント防止に関する取り組み
20. その他（具体的に： _____)

日野市の男女平等推進に関する施策など、御意見・御要望がございましたらご自由にご記入ください。

日野市
男女平等についての市民アンケート
調査結果報告書

令和元年10月

発 行／日野市
編 集／日野市 企画部 男女平等課
〒191-0062
日野市多摩平2-9 多摩平の森ふれあい館2階
T E L 042-584-2733
F A X 042-584-2748
